

向出遺跡発掘調査報告書

— 00-1区 —

2009年

阪南市教育委員会

はしがき

国道26号線(第二阪和国道)は、当市の暮らしや産業を支えるためになくてはならない大切な幹線道路です。しかし、新しい建築物は地下に眠る多くの文化財を破壊しなければ築けないのが現状です。

国道26号線延伸に先立つ発掘調査では、多くの遺跡が破壊されました。それと引き換えに新しい発見もあり、市域の歴史も塗り替えられました。

当教育委員会は土木工事などで破壊されていく遺跡を、せめて記録として子孫に残すことが大切な責務と心得、埋蔵文化財行政を行っております。

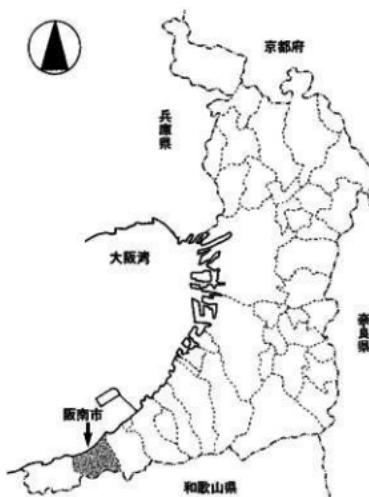
遺跡は一度壊してしまうと二度と甦らないものです。何百、何千年の間、地下に眠っている人類の歴史を破壊する権利は、現代の我々にあるはずがありません。

今後も我々は子々孫々に恥ずかしくない埋蔵文化財行政を行っていくよう努力する所存です。

今回の調査に当たり、ご指導、ご協力いただきました関係者に対し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

2009年3月

阪南市教育委員会



第1図 阪南市位置図

例　　言

1. 本書は阪南市自然田に所在する向出遺跡の発掘調査報告書である。
2. 本調査は、平成12年6月から10月まで、国土交通省近畿地方建設局浪速国道工事事務所の委託を受け、阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課が行った。
3. 調査は生涯学習部生涯学習推進課田中早苗が担当して実施した。
4. 本書内に示した標高は、T.P.であり、方位は既製の地形図などを使用したものと除いて磁北である。
5. 調査に当たっては土地所有者など、関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
6. 本書の執筆・編集は田中早苗、縄文土器及び石器の記述は横澤 慶(現大分県教育委員会)が行った。また、発掘調査、整理作業は以下の調査従事者による。
7. 骨片については安部みき子氏(大阪市立大学)の所見による。
8. 本調査における記録は実測図、写真、カラースライドなどに保存されている。当教育委員会にて保管しているので、広く活用されたい。

(調査従事者)

和田旬世、井上祥子、井上 進、島田万帆、外池美渡里、上田妙子、滝本奈保子、福森由紀、中寺幸子、廣島良子、谷口恒子、芝 尚幸

目　　次

| | |
|--------------|----|
| 第1章　調査にいたる経過 | 1 |
| 第2章　歴史的環境 | 2 |
| 第3章　調査の成果 | |
| 第1節　調査の方法 | 4 |
| 第2節　遺構・遺物 | 7 |
| 第4章　まとめ | 41 |
| 遺物観察表 | 42 |
| 報告書抄録 | |

第1章 調査にいたる経過

阪南市の幹線道路である国道26号線(第二阪和国道)の阪南市自然田から岬町淡輪間の延伸は、昭和63(1988)年に計画、事業化され、15年後の平成15(2003)年に阪南市自然田と箱作間の約4.5kmが部分開通し、阪南市域における慢性的な交通の停滞はようやく解消された。

しかし、その地中には久保田遺跡、向出遺跡、向山遺跡、亀川遺跡、井戸遺跡などが存在し、工事に先行して平成8(1996)年より(財)大阪府文化財調査研究センターによる発掘調査が行われ、多くの成果を得た。

これら本線部の調査は面積も広く、華々しく新聞紙面を飾ったものもあったが、それに伴う付属工事は面積も狭く、忘れられがちである。

本調査は上記の本線部工事によって台地が削平されたため、台地の東側に取り残された耕作地490m²を削りとて、側道の高さに合わせるため、計画された工事に先立つ調査である。

現地は(財)大阪府文化財調査研究センターが平成10(1998)年に発掘調査を行い、多くの遺構、遺物を検出した調査区に隣接するため、試掘調査は実施せずに調査を行った。

以下にその成果を報告する。

第2章 歴史的環境

向出遺跡は大阪府阪南市自然田に所在し、市の東端部を流れる男里川の支流である菟砥川と山中川に挟まれた狭小な台地上に広がる遺跡である。

当遺跡は、昭和62(1987)年度に阪南町教育委員会が行った埋蔵文化財分布調査で発見された。この調査では縄文時代のサヌカイト製石器が多く採取されたが、詳細な時代がわかる遺物としては縄文時代晚期の土器が若干確認されたのみであった。その後、小規模な調査が数件行われたものの縄文時代の遺構は検出されなかった。

平成9(1997)年に(財)大阪府文化財調査研究センターが国道26号線(第二阪和国道)延伸の道路部分約8975m²の調査を行い、縄文時代の土坑墓群を発見したため、平成10(1998)年より史跡指定を考慮した範囲確認調査を当教育委員会が4年にわたって行うこととなった。その結果、遺跡の中部では古墳時代中期の住居跡、南部では縄文時代後期から晚期の土坑墓群の広がりを確認した。

向出遺跡より南側の台地上では、縄文時代の土坑墓や弥生時代後期から古墳時代初頭の集落などが発見された向山遺跡(47)が存在し、その南側には自然田遺跡(35)が広がる。

自然田遺跡からは縄文時代の石器が採取されているが、十数件の小規模な発掘調査は行われているものの、詳しい遺跡の性格はわからっていない。

さらに南側の玉田山丘陵の山頂付近には玉田山遺跡(6)が、西側山麓には古墳時代終末期の横穴式石室2基から構成される玉田山古墳群(5)が存在する。

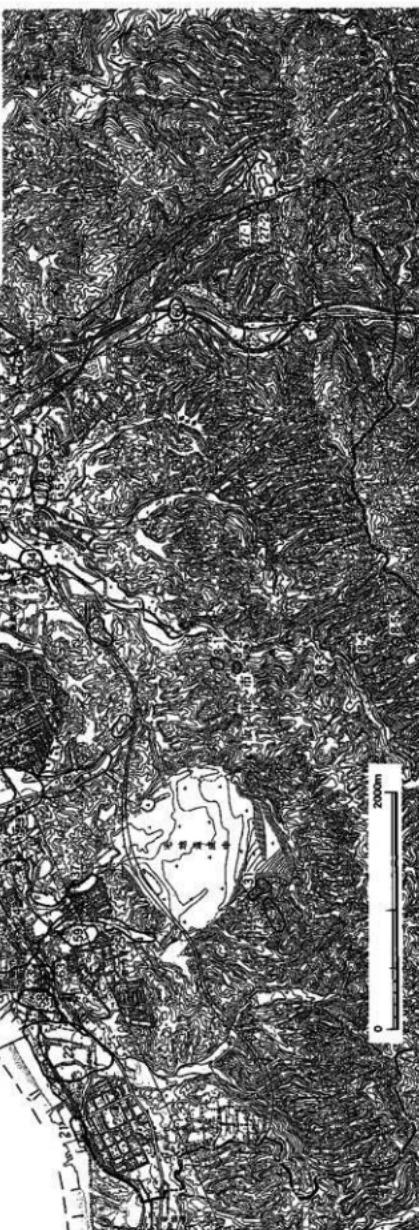
玉田山遺跡は江戸時代に成立した垂仁天皇の皇子である五十敷入彦命の宇度墓伝説があったが、昭和57(1982)年、丘陵頂上の公園整備事業に伴う事前調査では、箱式石棺を検出したものの宇度墓と関連するものは発見されなかった。

寺田山遺跡(7)は玉田山古墳群から望む西側平地に位置し、古墳を築造した集団の住居の存在が期待されていた。当教育委員会では平成11(1999)年度に約4000m²の民間の開発工事に伴う発掘調査を行い、大幅に削平されていたものの、弥生時代後期の竪穴住居や土坑墓などを検出し、土器とともにサヌカイト製石器と大量のサヌカイト剥片が出土したが、古墳時代の遺構は見られなかった。

参考文献

- 阪南町史編さん委員会 1983 「阪南町史」上巻
阪南町教育委員会 1982 「玉田山遺跡発掘調査報告書—大阪府泉南郡阪南町自然田所在—」(阪南町埋蔵文化財報告Ⅲ)
阪南市教育委員会 1988 「阪南町埋蔵文化財分布調査概要Ⅰ」(阪南町埋蔵文化財報告Ⅵ)
財團法人 大阪府文化財調査研究センター 2002 「向山遺跡発掘調査報告書—大阪府阪南市自然田所在— 一般国道26号線(第二阪和国道)建設工事に伴う」(財團法人 大阪府文化財調査研究センター調査報告書第72集)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75
 阪南市埋蔵文化財分布図
 1. 大阪府
 2. 堺市
 3. 三井松原
 4. 木津川
 5. 五条
 6. 金剛
 7. 今里
 8. 田中
 9. 石切
 10. 住吉
 11. 住吉
 12. 朝日
 13. 朝日
 14. 木津
 15. 水附
 16. 舟守
 17. 神光寺
 18. 山西
 19. 田山
 20. 住吉
 21. 住吉
 22. 住吉
 23. 住吉
 24. 住吉
 25. 住吉
 26. 住吉
 27. 住吉
 28. 住吉
 29. 住吉
 30. 住吉
 31. 住吉
 32. 住吉
 33. 住吉
 34. 住吉
 35. 住吉
 36. 住吉
 37. 住吉
 38. 住吉
 39. 住吉
 40. 住吉
 41. 住吉
 42. 住吉
 43. 住吉
 44. 住吉
 45. 住吉
 46. 住吉
 47. 住吉
 48. 住吉
 49. 住吉
 50. 住吉
 51. 住吉
 52. 住吉
 53. 住吉
 54. 住吉
 55. 住吉
 56. 住吉
 57. 住吉
 58. 住吉
 59. 住吉
 60. 住吉
 61. 住吉
 62. 住吉
 63. 住吉
 64. 住吉
 65. 住吉
 66. 住吉
 67. 住吉
 68. 住吉
 69. 住吉
 70. 住吉
 71. 住吉
 72. 住吉
 73. 住吉
 74. 住吉
 75. 住吉
 76. 住吉
 77. 住吉
 78. 住吉
 79. 住吉
 80. 住吉
 81. 住吉
 82. 住吉
 83. 住吉
 84. 住吉
 85. 住吉
 86. 住吉
 87. 住吉
 88. 住吉
 89. 住吉
 90. 住吉
 91. 住吉
 92. 住吉
 93. 住吉
 94. 住吉
 95. 住吉
 96. 住吉
 97. 住吉
 98. 住吉
 99. 住吉
 100. 住吉
 101. 住吉
 102. 住吉
 103. 住吉
 104. 住吉
 105. 住吉
 106. 住吉
 107. 住吉
 108. 住吉
 109. 住吉
 110. 住吉
 111. 住吉
 112. 住吉
 113. 住吉
 114. 住吉
 115. 住吉
 116. 住吉
 117. 住吉
 118. 住吉
 119. 住吉
 120. 住吉
 121. 住吉
 122. 住吉
 123. 住吉
 124. 住吉
 125. 住吉
 126. 住吉
 127. 住吉
 128. 住吉
 129. 住吉
 130. 住吉
 131. 住吉
 132. 住吉
 133. 住吉
 134. 住吉
 135. 住吉
 136. 住吉
 137. 住吉
 138. 住吉
 139. 住吉
 140. 住吉
 141. 住吉
 142. 住吉
 143. 住吉
 144. 住吉
 145. 住吉
 146. 住吉
 147. 住吉
 148. 住吉
 149. 住吉
 150. 住吉
 151. 住吉
 152. 住吉
 153. 住吉
 154. 住吉
 155. 住吉
 156. 住吉
 157. 住吉
 158. 住吉
 159. 住吉
 160. 住吉
 161. 住吉
 162. 住吉
 163. 住吉
 164. 住吉
 165. 住吉
 166. 住吉
 167. 住吉
 168. 住吉
 169. 住吉
 170. 住吉
 171. 住吉
 172. 住吉
 173. 住吉
 174. 住吉
 175. 住吉
 176. 住吉
 177. 住吉
 178. 住吉
 179. 住吉
 180. 住吉
 181. 住吉
 182. 住吉
 183. 住吉
 184. 住吉
 185. 住吉
 186. 住吉
 187. 住吉
 188. 住吉
 189. 住吉
 190. 住吉
 191. 住吉
 192. 住吉
 193. 住吉
 194. 住吉
 195. 住吉
 196. 住吉
 197. 住吉
 198. 住吉
 199. 住吉
 200. 住吉
 201. 住吉
 202. 住吉
 203. 住吉
 204. 住吉
 205. 住吉
 206. 住吉
 207. 住吉
 208. 住吉
 209. 住吉
 210. 住吉
 211. 住吉
 212. 住吉
 213. 住吉
 214. 住吉
 215. 住吉
 216. 住吉
 217. 住吉
 218. 住吉
 219. 住吉
 220. 住吉
 221. 住吉
 222. 住吉
 223. 住吉
 224. 住吉
 225. 住吉
 226. 住吉
 227. 住吉
 228. 住吉
 229. 住吉
 230. 住吉
 231. 住吉
 232. 住吉
 233. 住吉
 234. 住吉
 235. 住吉
 236. 住吉
 237. 住吉
 238. 住吉
 239. 住吉
 240. 住吉
 241. 住吉
 242. 住吉
 243. 住吉
 244. 住吉
 245. 住吉
 246. 住吉
 247. 住吉
 248. 住吉
 249. 住吉
 250. 住吉
 251. 住吉
 252. 住吉
 253. 住吉
 254. 住吉
 255. 住吉
 256. 住吉
 257. 住吉
 258. 住吉
 259. 住吉
 260. 住吉
 261. 住吉
 262. 住吉
 263. 住吉
 264. 住吉
 265. 住吉
 266. 住吉
 267. 住吉
 268. 住吉
 269. 住吉
 270. 住吉
 271. 住吉
 272. 住吉
 273. 住吉
 274. 住吉
 275. 住吉
 276. 住吉
 277. 住吉
 278. 住吉
 279. 住吉
 280. 住吉
 281. 住吉
 282. 住吉
 283. 住吉
 284. 住吉
 285. 住吉
 286. 住吉
 287. 住吉
 288. 住吉
 289. 住吉
 290. 住吉
 291. 住吉
 292. 住吉
 293. 住吉
 294. 住吉
 295. 住吉
 296. 住吉
 297. 住吉
 298. 住吉
 299. 住吉
 300. 住吉
 301. 住吉
 302. 住吉
 303. 住吉
 304. 住吉
 305. 住吉
 306. 住吉
 307. 住吉
 308. 住吉
 309. 住吉
 310. 住吉
 311. 住吉
 312. 住吉
 313. 住吉
 314. 住吉
 315. 住吉
 316. 住吉
 317. 住吉
 318. 住吉
 319. 住吉
 320. 住吉
 321. 住吉
 322. 住吉
 323. 住吉
 324. 住吉
 325. 住吉
 326. 住吉
 327. 住吉
 328. 住吉
 329. 住吉
 330. 住吉
 331. 住吉
 332. 住吉
 333. 住吉
 334. 住吉
 335. 住吉
 336. 住吉
 337. 住吉
 338. 住吉
 339. 住吉
 340. 住吉
 341. 住吉
 342. 住吉
 343. 住吉
 344. 住吉
 345. 住吉
 346. 住吉
 347. 住吉
 348. 住吉
 349. 住吉
 350. 住吉
 351. 住吉
 352. 住吉
 353. 住吉
 354. 住吉
 355. 住吉
 356. 住吉
 357. 住吉
 358. 住吉
 359. 住吉
 360. 住吉
 361. 住吉
 362. 住吉
 363. 住吉
 364. 住吉
 365. 住吉
 366. 住吉
 367. 住吉
 368. 住吉
 369. 住吉
 370. 住吉
 371. 住吉
 372. 住吉
 373. 住吉
 374. 住吉
 375. 住吉
 376. 住吉
 377. 住吉
 378. 住吉
 379. 住吉
 380. 住吉
 381. 住吉
 382. 住吉
 383. 住吉
 384. 住吉
 385. 住吉
 386. 住吉
 387. 住吉
 388. 住吉
 389. 住吉
 390. 住吉
 391. 住吉
 392. 住吉
 393. 住吉
 394. 住吉
 395. 住吉
 396. 住吉
 397. 住吉
 398. 住吉
 399. 住吉
 400. 住吉
 401. 住吉
 402. 住吉
 403. 住吉
 404. 住吉
 405. 住吉
 406. 住吉
 407. 住吉
 408. 住吉
 409. 住吉
 410. 住吉
 411. 住吉
 412. 住吉
 413. 住吉
 414. 住吉
 415. 住吉
 416. 住吉
 417. 住吉
 418. 住吉
 419. 住吉
 420. 住吉
 421. 住吉
 422. 住吉
 423. 住吉
 424. 住吉
 425. 住吉
 426. 住吉
 427. 住吉
 428. 住吉
 429. 住吉
 430. 住吉
 431. 住吉
 432. 住吉
 433. 住吉
 434. 住吉
 435. 住吉
 436. 住吉
 437. 住吉
 438. 住吉
 439. 住吉
 440. 住吉
 441. 住吉
 442. 住吉
 443. 住吉
 444. 住吉
 445. 住吉
 446. 住吉
 447. 住吉
 448. 住吉
 449. 住吉
 450. 住吉
 451. 住吉
 452. 住吉
 453. 住吉
 454. 住吉
 455. 住吉
 456. 住吉
 457. 住吉
 458. 住吉
 459. 住吉
 460. 住吉
 461. 住吉
 462. 住吉
 463. 住吉
 464. 住吉
 465. 住吉
 466. 住吉
 467. 住吉
 468. 住吉
 469. 住吉
 470. 住吉
 471. 住吉
 472. 住吉
 473. 住吉
 474. 住吉
 475. 住吉
 476. 住吉
 477. 住吉
 478. 住吉
 479. 住吉
 480. 住吉
 481. 住吉
 482. 住吉
 483. 住吉
 484. 住吉
 485. 住吉
 486. 住吉
 487. 住吉
 488. 住吉
 489. 住吉
 490. 住吉
 491. 住吉
 492. 住吉
 493. 住吉
 494. 住吉
 495. 住吉
 496. 住吉
 497. 住吉
 498. 住吉
 499. 住吉
 500. 住吉



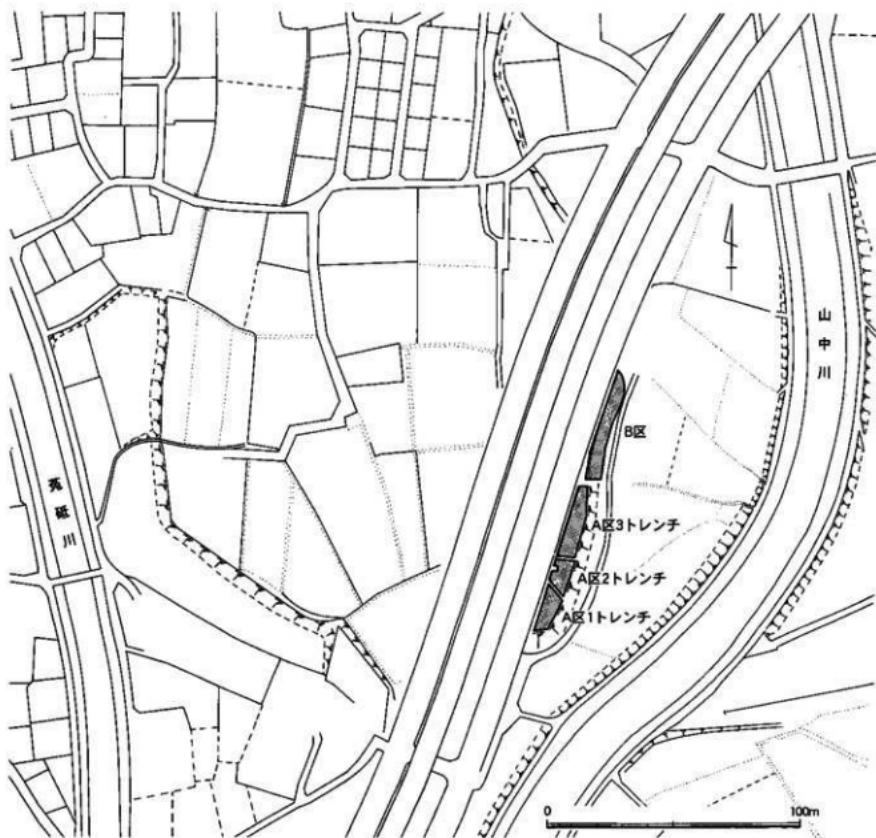
第2図 阪南市埋蔵文化財分布図

第3章 調査の成果

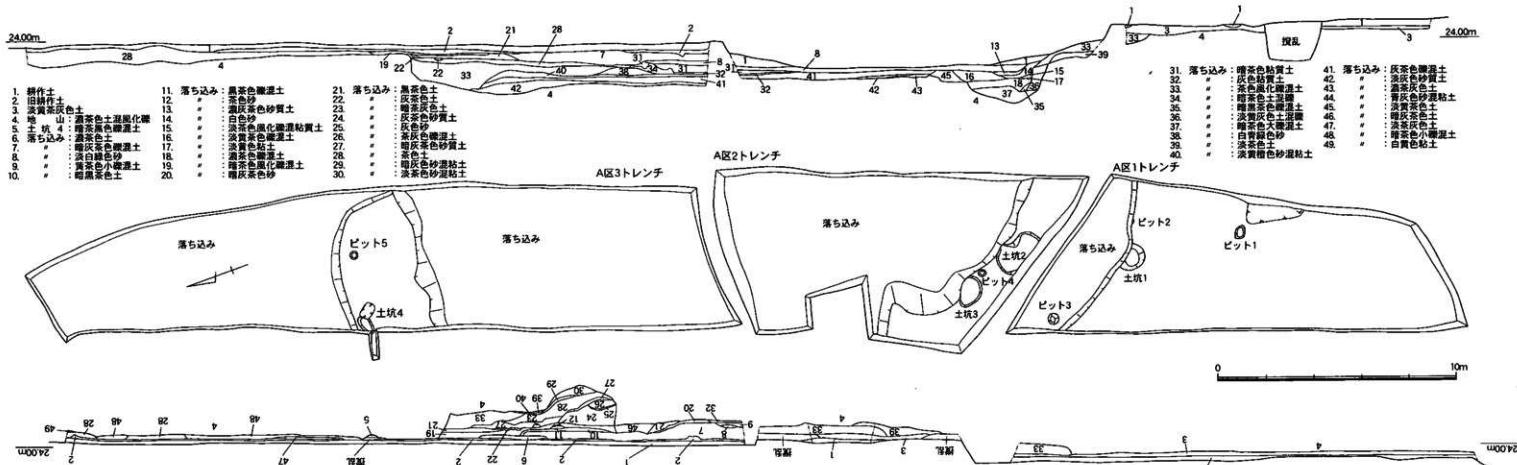
第1節 調査の方法

(財)大阪府文化財調査研究センターが発掘調査を行った調査区に隣接することから試掘調査を経ずに発掘調査を実施した。

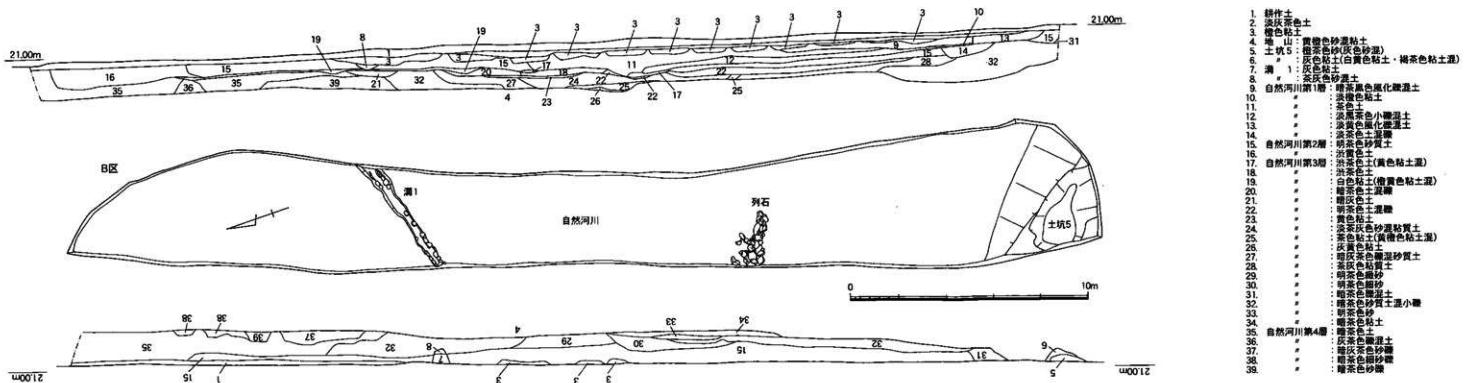
調査報告は便宜上、南側の台地上をA区、北側の平地部をB区として報告する。A区は現況の耕作面単位の3区画に分けて調査を行い、それぞれ南側から1・2・3トレントレンチとした。その為、A区の全景写真は3区画に分かれている。



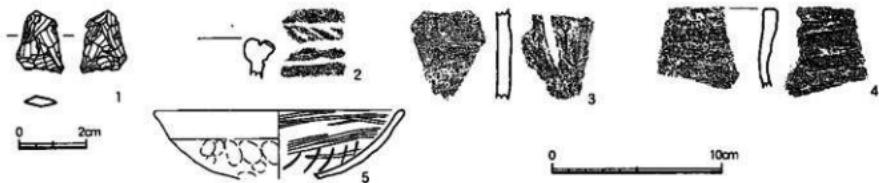
第3図 トレントレンチ位置図



第4図 A区 平面図・断面図



第5図 B区 平面図・断面図



第6図 A区 第3層 出土遺物

第2節 遺構・遺物

A区(第4・6図)

現況の高さは1トレンチはおよそT.P.+24.70m、2・3トレンチはおよそT.P.+24.00mである。西側は平成10(1998)年度に(財)大阪府文化財調査研究センターが発掘調査を行い、縄文時代後期～晩期の土坑墓群や弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居を発見した調査区に隣接する。

基本層序は第1層耕作土、第2層旧耕作土、第3層淡黄茶灰色土、第4層濃茶色土混風化礫の地山である。第3層は南側の1トレンチにのみ存在する。

遺物は第3層からサヌカイト、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶器、磁器などが出土した。近世期の包含層と考えられる。

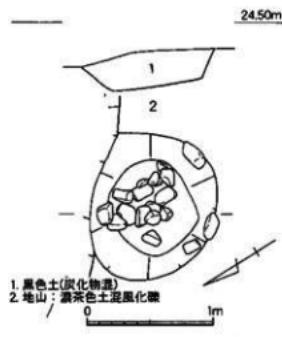
図示できた遺物は以下のとおりである。1はサヌカイト製で先端部を欠損する石鏃と思われる。2～4は縄文土器である。2は口縁を肥厚し、拡張した上端面に沈線を、その口縁端部外側にかけて短沈線を施す。後期前葉の四ツ池式・広瀬土壙40段階に比定できる。3は条痕地で、外面に縦位の沈線を施すが、詳細は不明。縦位沈線から、北白川上層式1期であろうか。4は無文土器の深鉢で、口縁は若干肥厚し、端部は面をもつ。いずれも後期に属する。5は瓦器碗で13世紀前半のものである。

遺構は土坑4基、ピット5基、落ち込み1を検出した。

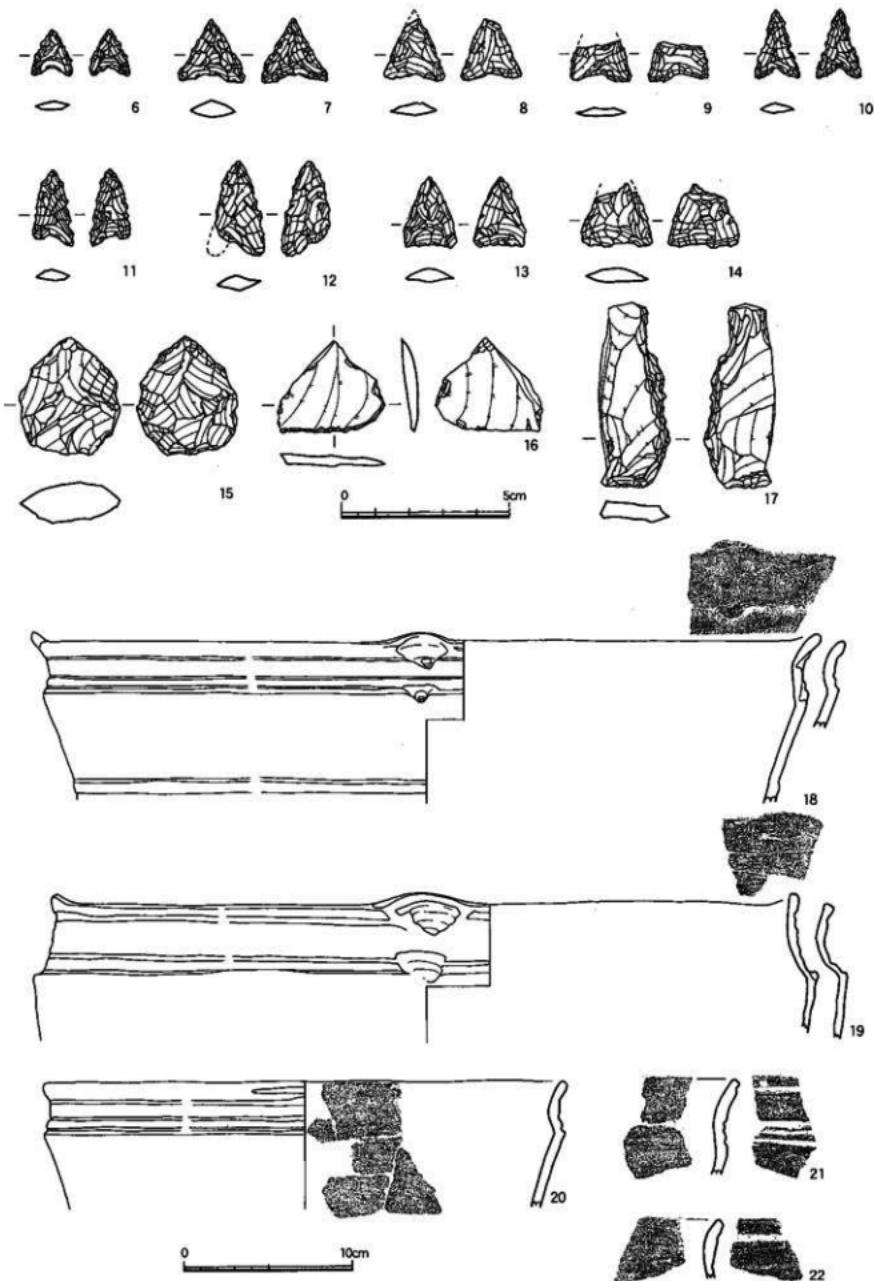
土坑1(第4・7～9図)

A区1トレンチ北部の地山面で検出した。北側は落ち込みに削平されている。東西1.22m、南北1.12m、深さ0.30mを測り、埋土は黒色土で炭化物が混じる。遺物はサヌカイト製の石鏃・スクレイパー・剥片、縄文土器、骨片が出土した。縄文時代の土坑である。

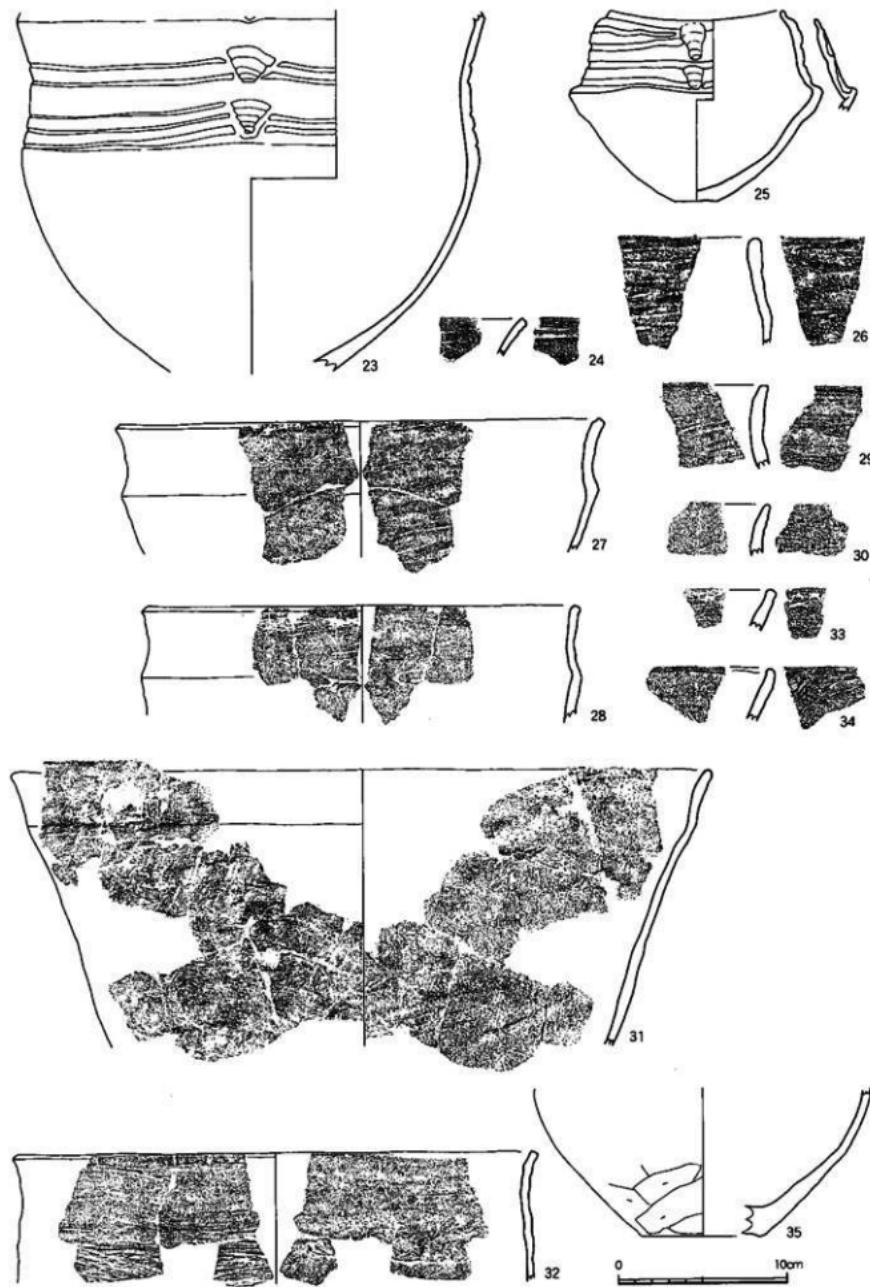
6～12は凹基無茎式石鏃である。8・9は基部の抉りが浅く先端部を欠損する。いずれもサヌカイト製である。13・14は平基無茎式石鏃で、14は先端部を欠損する。いずれもサヌカイト製である。15～17はスクレイパーで、いずれもサヌカイト製である。



第7図 A区1トレンチ 土坑1
平面図・断面図



第8図 A区1 トレンチ 土坑1 出土遺物(1)



第9図 A区 1トレンチ 土坑1 出土遺物(2)

18~35は縄文土器で、後期後葉に属する。

18~25は卷貝による凹線と扇状圧痕が特徴の宮滝式有文土器である。18~22は深鉢で、頸部で屈曲し、口縁は外反する。口縁下に凹線を1条、その下に間隔をあけて2~3条施す。18・19は口縁に半円形突起をもち、その下に卷貝の扇状圧痕を2段施す。23は口縁部を欠くが、同様の器形であろう。19・21・22の口縁端部は面取りし、他は丸くおさめる。24は外に開く器形で、鉢ないし浅鉢と考えられる。25は小型の浅鉢である。口縁から頸部にかけて凹線と卷貝扇状圧痕を2段施す。

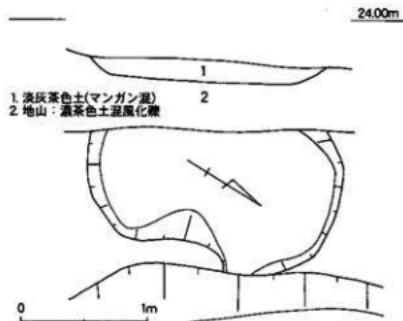
26~34は無文土器である。26は頸部で屈曲し、口縁は内傾するもので、端部は丸くおさめる。27~31は頸部で屈曲し、口縁が外反する器形で、27~29は口縁端部を面取りし、30・31は丸くおさめる。32は頸部での明瞭な屈曲がなく、口縁は緩やかに外反し、口縁端部は面取りする。33・34は外に開く口縁で、33の端部は面取りし、34の口縁は若干内側に折れ、端部は丸くおさめる。35は底部で、底面は凹み底である。これらは宮滝2式に比定できる。有文土器の種類や無文土器の器形から、一括性は高いものと判断できる。

出土した骨片はすべて焼成を受けており、人骨か獸骨かは不明である。

土坑2(第4・10・11図)

A区2トレンチ南部の落ち込みの埋土を除去後に地山面で検出した。東西1.40m以上、南北2.00m以上、深さ0.17m、埋土はマンガン混じりの淡灰茶色土である。

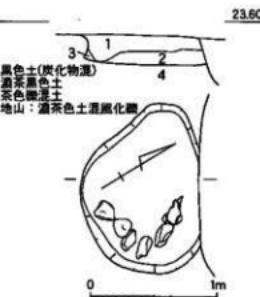
遺物はサヌカイト剥片、縄文土器、弥生土器が出土した。図示できたのは1点のみである。36は外反口縁の縄文土器の浅鉢で、内外面とも口縁下に凹線を1条施す。宮滝2式に比定できよう。遺物から考えると弥生時代以降の土坑である。



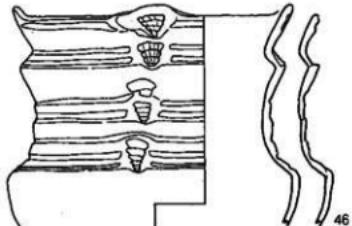
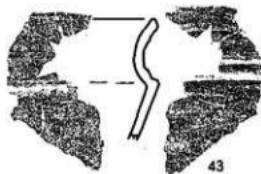
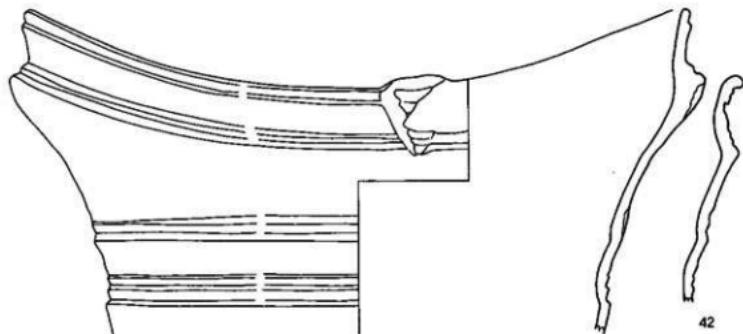
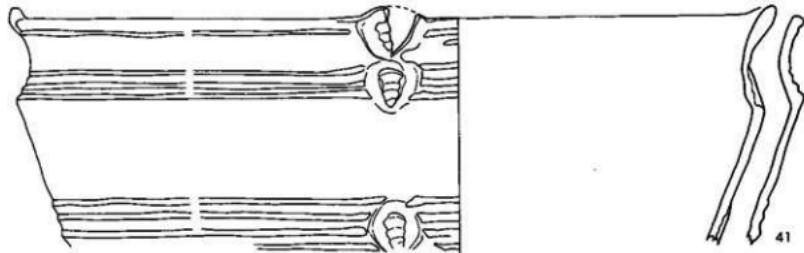
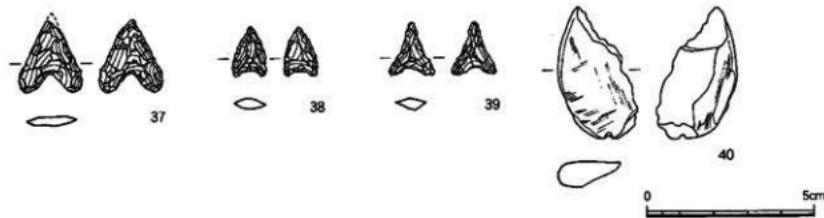
第10図 A区2トレンチ 土坑2 平面図・断面図



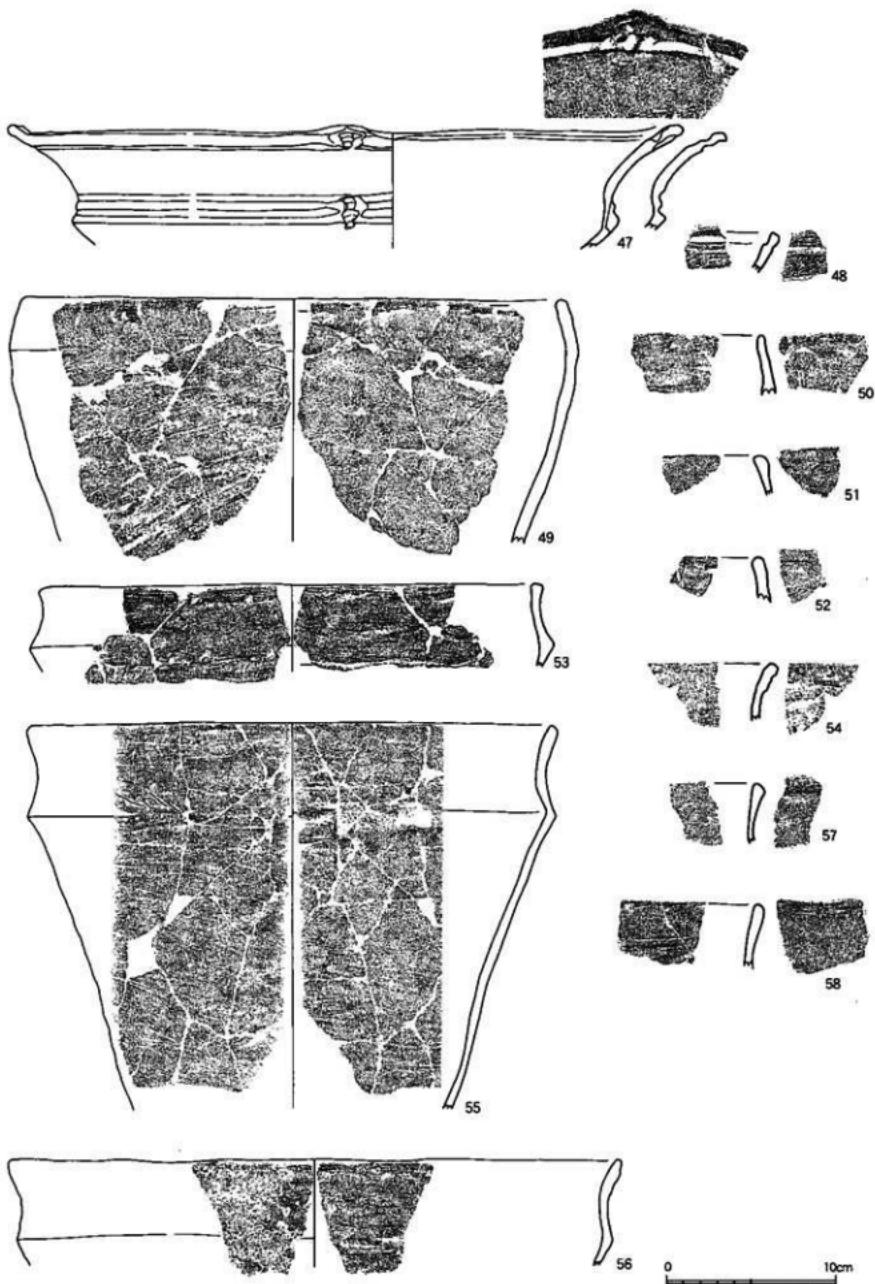
第11図 A区2トレンチ 土坑2 出土遺物



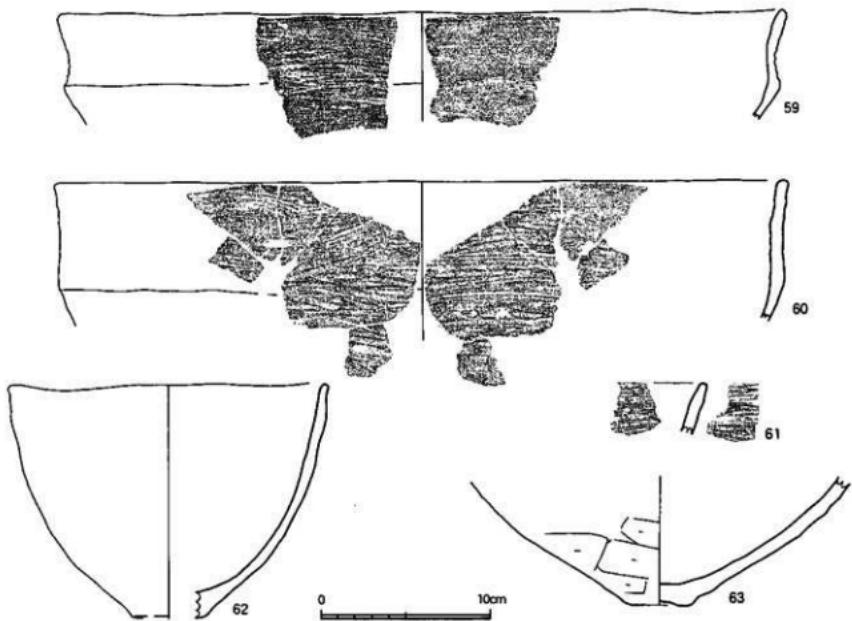
第12図 A区2トレンチ 土坑3
平面図・断面図



第13図 A区2トレンチ 土坑3 出土遺物(1)



第14図 A区2トレンチ 土坑3 出土遺物(2)



第15図 A区2トレンチ 土坑3 出土遺物(3)

土坑3(第4・12~15図)

土坑2の北西側に位置し、落ち込みの埋土を除去後に地山面で検出した。東西1.30m、南北0.95m以上、深さ0.25m、埋土の第1層は土坑1と同じ黒色土で炭化物が混じる。第2層濃茶黒色土、第3層茶色疊混土である。遺物は第1層からサヌカイト製の石核・石鏃・剥片、縄文土器、石錘、炭化物、骨片、第2層からサヌカイト剥片、縄文土器、炭化物が出土した。

37~39は凹基無茎式石鏃である。37は直線的な側縁をもち、38は先端部の手前で屈曲し、39は側縁中央で屈曲する。いずれもサヌカイト製である。40は切目石錘で、大半を欠損する。表面には研磨痕が認められる。石材は片岩である。

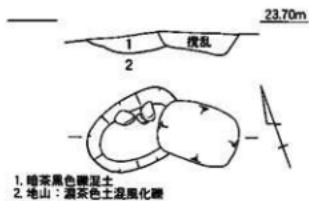
41~63は縄文土器で、いずれも後期後葉に属する。41~48は卷貝による凹線と扇状圧痕を施す宮滝式である。41~45は外反口縁の深鉢で、口縁下に凹線を1条と、41~43はその下に間隔をあけて2~3条施す。41・42は口縁部に半円形突起をもち、その下に卷貝による扇状圧痕を2段施す。42は2単位の波状口縁である。46は2段で屈曲する器形で、鉢ないし注口土器であろう。文様は4段施す。47は口縁が強く外反する浅鉢である。口縁には4箇所に半円形の突起をもち、内面口縁下に凹線と、貝殻頂部による刺突を施す。

49~61は無文の深鉢である。49~53は内屈口縁で、49・50の端部は丸くおさめ、他は面取りする。51は口縁を肥厚する。54~61は外反口縁で、55・56・59・60は頸部で屈曲する。60は緩く外反する。57は端部を面取りし、他は丸くおさめる。62は鉢である。63は鉢の底部で、底面は凹む。

出土した骨片はすべて焼成を受けており、種が同定できた獸骨は、イノシシの左橈骨の遠位関節面前縁の中央部であった。人骨と思われる骨片は8片出土し、そのうちの1片は歯槽の一部とみられる。その他の骨片では、小型の哺乳類の頭骨の縫合部と思われる1片以外は同定できなかった。

土坑4(第4・16図)

A区3トレンチ中央部、落ち込みの埋土を除去後に地山面で検出した。東西0.80m、南北0.45m、深さ0.12mを測り、埋土は暗茶黒色礫混土である。サヌカイト剥片、縄文土器が出土したが、図示できる遺物はなかった。縄文時代の土坑と考えられる。



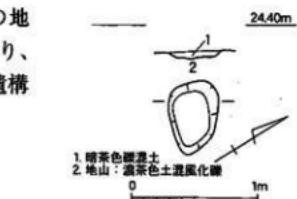
第16図 A区3トレンチ 土坑4
平面図・断面図

ピット1(第4・17図)

本調査の最も南部に位置する遺構で、A区1トレンチの地山面で検出した。東西0.55m、南北0.38m、深さ0.07mを測り、埋土は暗茶色礫混土である。遺物が出土しなかったため、遺構の時代は不明である。

ピット2(第4・18図)

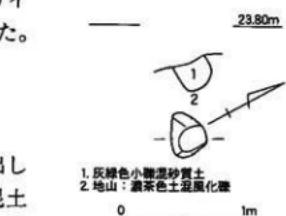
A区1トレンチの地山面で検出した。土坑1と同じく北側を落ち込みに削平され、一部が残る。残存部は東西0.34m、南北0.28m、深さ0.28m、埋土は灰緑色小礫混砂質土である。サヌカイト剥片、弥生土器が出土したが、図示できる遺物はなかった。弥生時代の遺構と考えられる。



第17図 A区1トレンチ ピット1
平面図・断面図

ピット3(第4・19図)

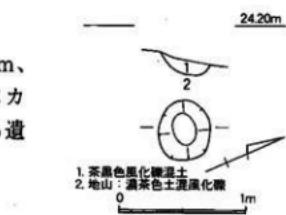
A区1トレンチの落ち込みの埋土を除去後、地山面で検出した。直径0.44m、深さ0.11mを測り、埋土は茶黒色風化礫混土である。サヌカイト剥片、縄文土器が出土したが、図示できる遺物はなかった。縄文時代の遺構と考えられる。



第18図 A区1トレンチ ピット2
平面図・断面図

ピット4(第4・20図)

A区2トレンチの土坑2と土坑3の間に位置し、直径0.29m、深さ0.09mを測る。埋土は茶黒色礫混土である。遺物はサヌカイト剥片、チャート剥片、縄文土器が出土したが図示できる遺物はなかった。縄文時代の遺構と考えられる。



第19図 A区1トレンチ ピット3
平面図・断面図

ピット5(第4・21・22図)

A区3トレンチの土坑4の東側に位置し、落ち込みの埋土

を除去後、地山面で検出した。直径0.34m、深さ0.19mを測り、埋土は暗茶灰色土である。遺物はサヌカイト製石鎌、縄文土器、弥生土器が出土した。弥生時代以降のピットである。

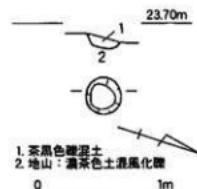
64はサヌカイト製の凹基無茎式石鎌で、先端部を欠損する。65は晩期後葉の凸帯文土器の深鉢である。内傾する口縁で、外面口縁下に凸帯を1条施す。凸帯上および口縁端部に刻みを施す。滋賀里IV式に該当する。

落ち込み(第4・23~29図)

A区1トレンチの北端から2・3トレンチの全面にわたる。東西6.90m以上、南北44.00m以上、深さは最深部で1.90mを測る。遺物は各層よりサヌカイト剥片、縄文時代から近代期までの土器が出土した。台地の東側が何度か崩落したものを、その都度修復したものと思われる、最深層から近代期の遺物が出土している為、最終の修復もその時期と思われる。一部に土留めと思われる木杭が数本残っていた。

66~82は凹基無茎式石鎌である。70~71は基部の抉りが浅く、66・70~73・80~82は先端部を欠損する。83~91は平基無茎式石鎌。87は全体的に丸みをもつ。85・88~90は先端部を欠損する。91は一部に原礫面をとどめる。いずれもサヌカイト製である。92~94はスクレイバーである。石材はいずれもサヌカイト製である。95・96は敲石である。どちらも砂岩製で、顕著な敲打痕が認められる。

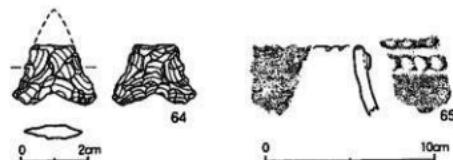
97~194は縄文土器で、97~106は中期末から後期前葉と考えられる一群である。97~99は口縁部を拡張し、端部に沈線を施す深鉢である。98は端部上面に沈線と短沈線を施す。いずれも後期前葉のもので、四ツ池式に比定できる。100は縄文地に縦位の沈線を施す深鉢脣部片で、北白川上層式1期に比定できようか。101は縄文LR地に縦位の蛇行沈線と刺突を施す有文深鉢で、北白川上層式2~3期であろう。102・103は櫛歯状工具で条線を施すもので、102は口縁を肥厚し、肥厚部の外面に縄文RLを施す。北白川上層式2期の特徴を有する。104は波状口縁深鉢の突起部で、内外面に沈線を施す。関東の堀之内式系であろうか。105は縄文RL地に横位沈線を施すもので沈線幅の太さと、磨消縄文化していない点から中期末の可能性が考えられよう。106は内屈する口縁で、口縁部を肥厚し、肥厚部に縄文を施す。後期前葉であろうか。



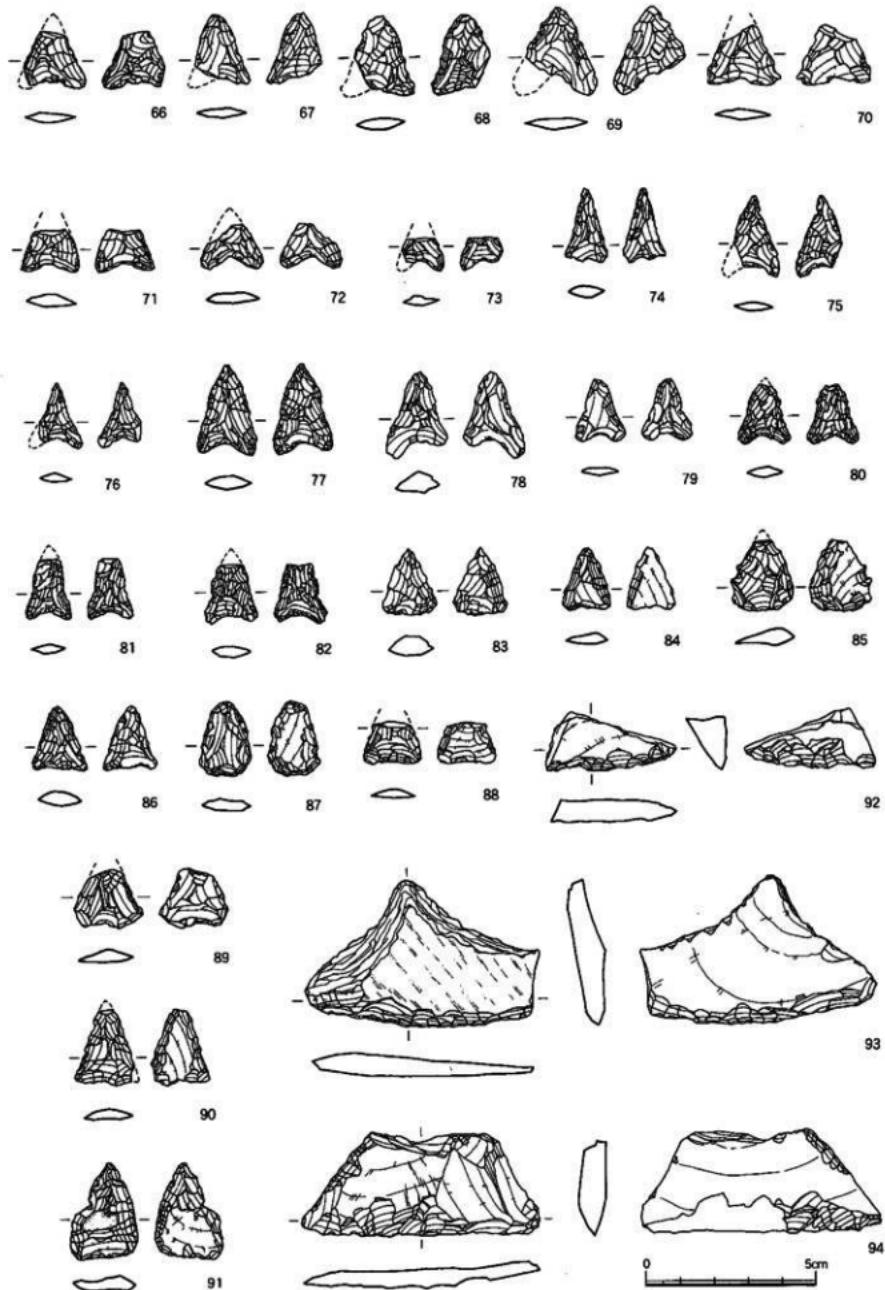
第20図 A区2トレンチ ピット4
平面図・断面図



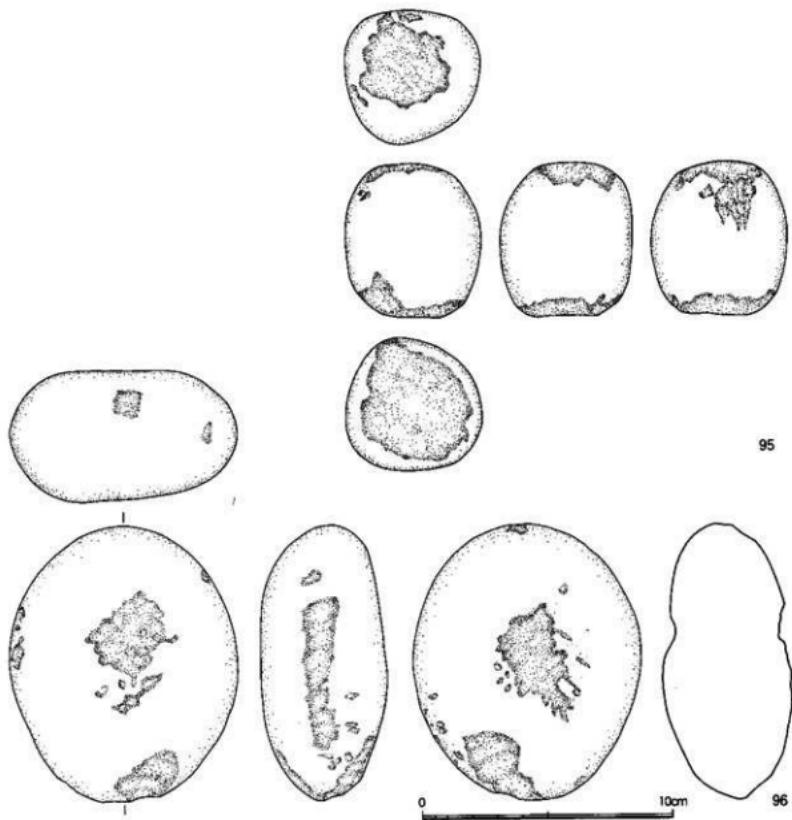
第21図 A区3トレンチ ピット5
平面図・断面図



第22図 A区3トレンチ ピット5 出土遺物



第23図 A区 落ち込み出土遺物(1)

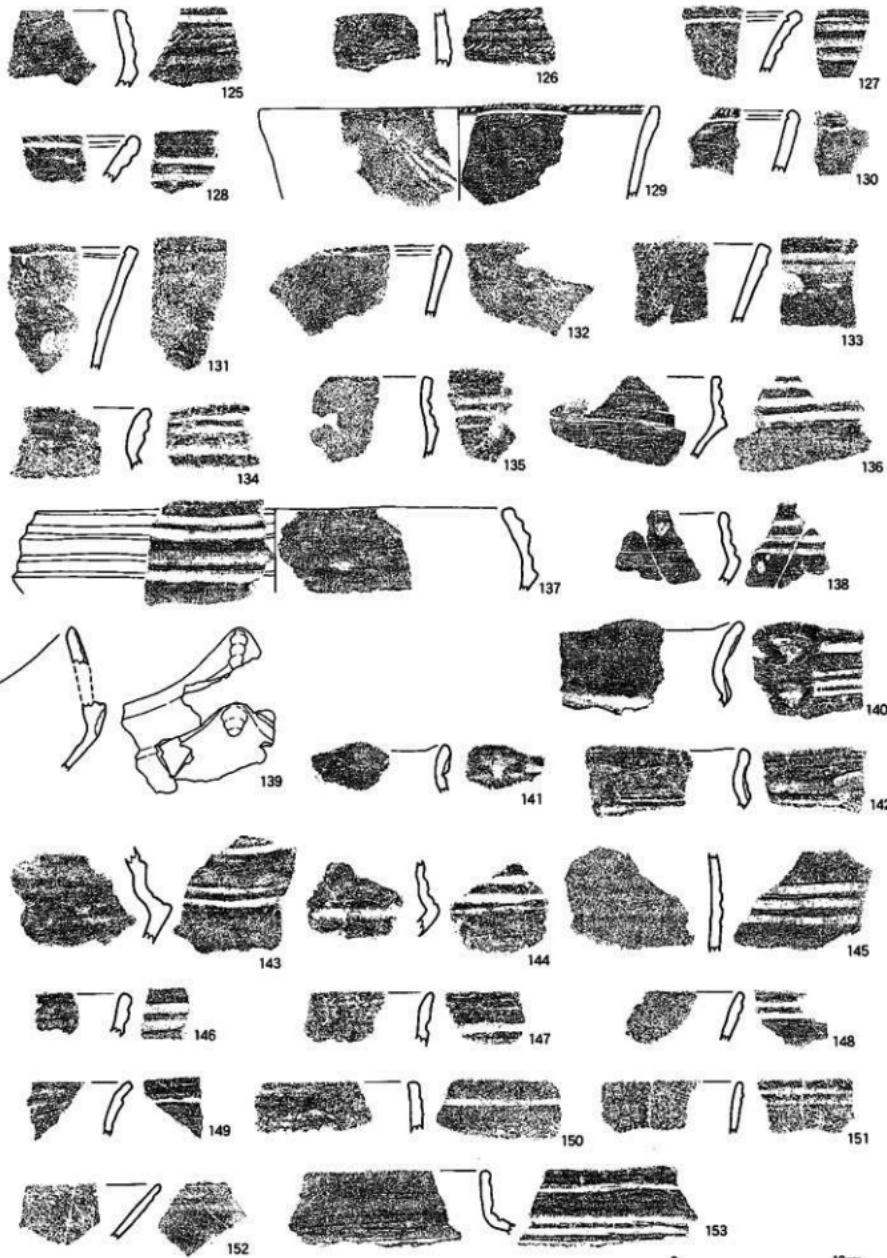


第24図 A区 落ち込み 出土遺物(2)

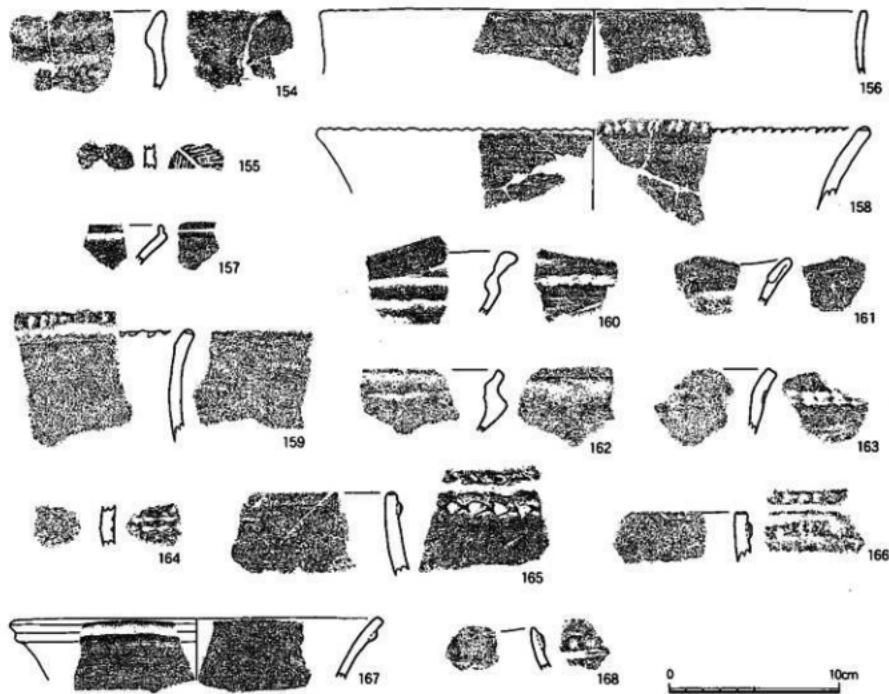
107~124は後期中葉に位置づけられる一群である。107は内屈する深鉢の口縁で、外面に細い区画沈線を施し、沈線内に縄文を施す。後期中葉の一乗寺K式に比定できようか。108・109は注口土器で、108は口縁に突起を持つ。口縁部は隆起帯による楕円形区画内に沈線を施し、沈線内に刺突を有する。ともに一乗寺K式から元住吉山I式であろう。110~115は「く」字状に内屈する口縁で、基本的に口縁端部は面取りする。111は沈線間に縄文LRを施す。112は沈線の下に隆帯をもち、隆帶上に縄文RLを施す。116・117は外反する口縁で、端部は面取りし、116の外面には縄文を施す。118・119は胴部片で、118は外面に沈線2条を施し、上の沈線の上方に貝殻背面压痕による擬縄文、下の沈線の下部に刻みを加える。119は沈線と縄文RLを施す。120~122は注口土器である。120は刻みをもつ隆帯と、その下に沈線を施す頸胸部破片、121・122は沈線と爪形の刻みを施す胴部下半の破片である。これらは元住吉山I式に該当する。123・124は内面口縁下に沈線と刻みを施す広口深鉢で、口縁端部を面取りする。元住吉山I式ないしII式に比定できよう。



第25図 A区 落ち込み出土遺物(3)



第26図 A区 落ち込み 出土遺物(4)

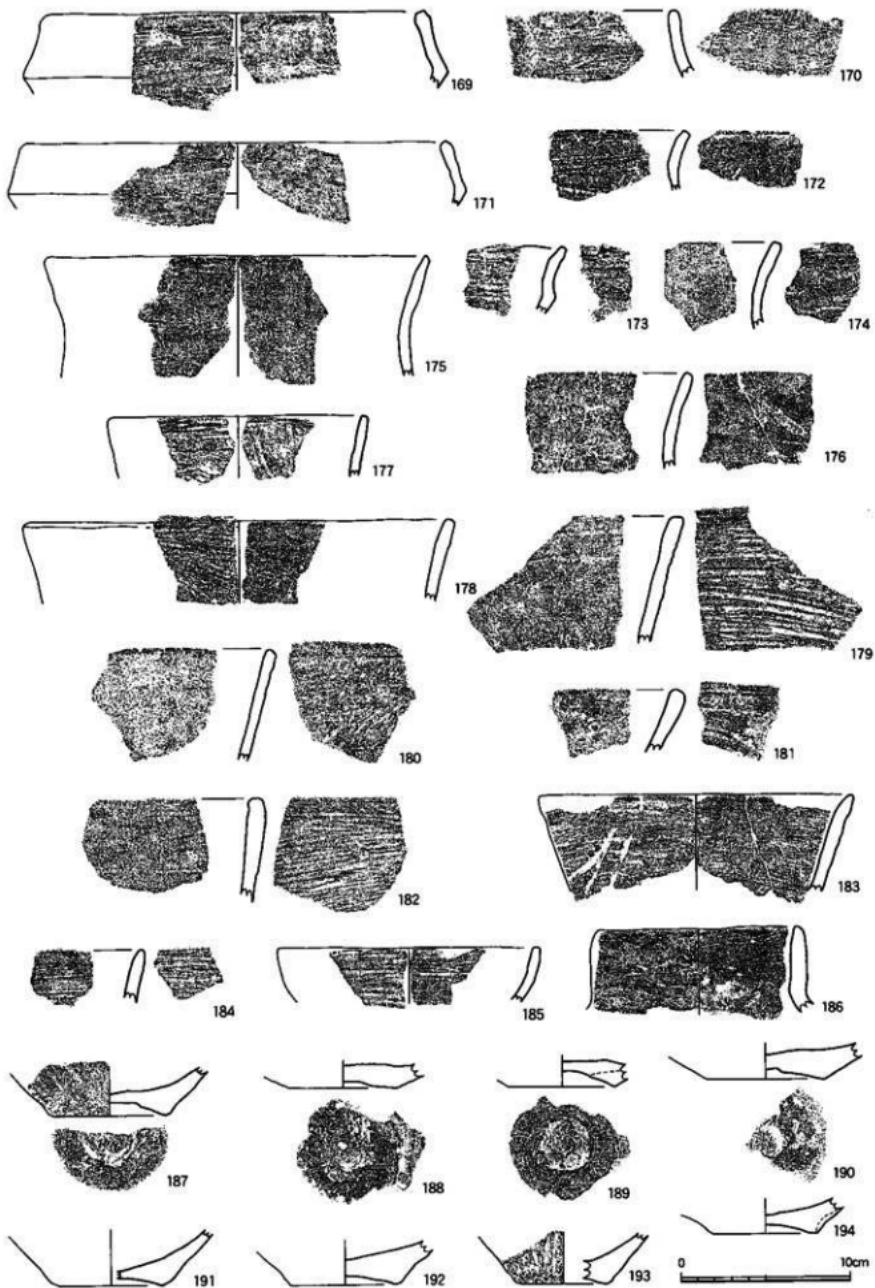


第27図 A区 落ち込み出土遺物(5)

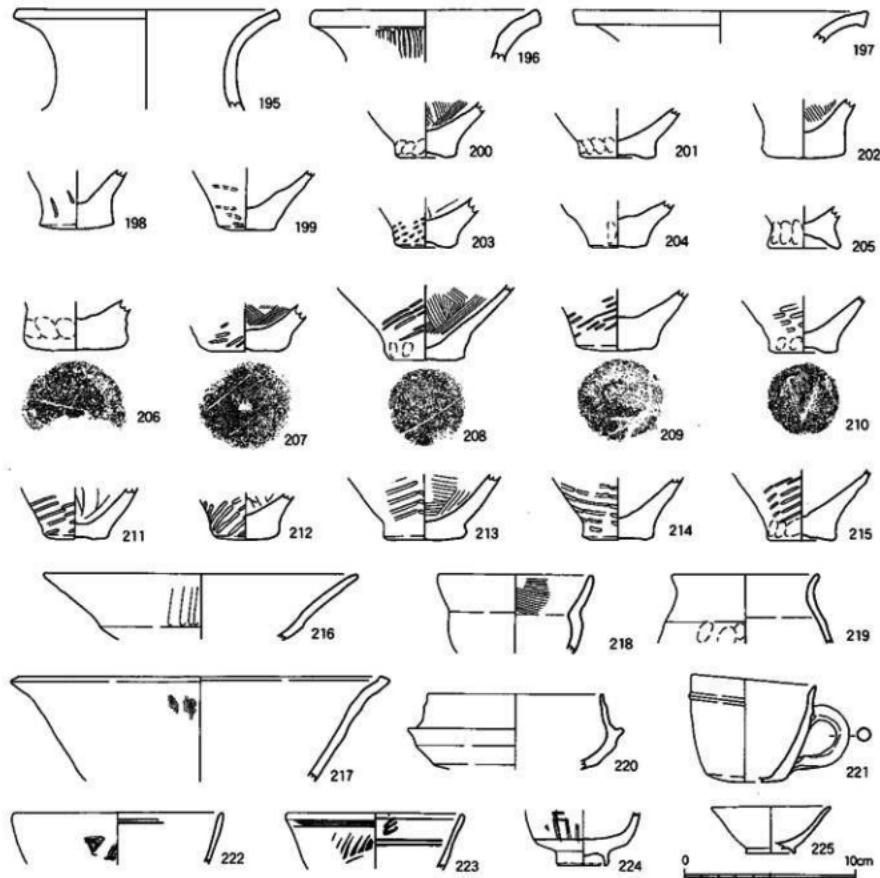
125～153は後期後葉～末葉に属する。125は内屈する浅鉢の口縁で、外面に凹線4条と、凹線間に刻みを施す。126も同様の文様構成をとる胴部である。ともに元住吉山II式に比定できる。

127～130は内面口縁下に沈線と刻みを施す、広口の深鉢ないし鉢である。127・128は外面に凹線を施す点は元住吉山II式の特徴であるが、口縁部を肥厚し、端部が丸みをもつなど、宮滝式の特徴を有する。129・130は外面無文で、口縁は丸くおさめる。元住吉山II式から宮滝式にあたるが、129は口縁を肥厚する点から宮滝式に含められよう。131・132は内面に沈線を施す広口の深鉢で、刻みはみられない。131は内面に刺突を施す。宮滝式に含まれよう。

133～153は後期後葉の宮滝式で、落ち込み出土土器の主体を占める。134は内傾しながら立ち上がり、口縁は強く外反する。口縁部は肥厚し、外面に凹線3条を施す。135は頸部で内屈し、口縁部が若干外反する深鉢である。外面に凹線3条を施す。136～138は浅鉢であろう。137は頸部で屈曲し、口縁は内彎する。これらは宮滝1式に比定できよう。139は波状口縁の深鉢で、口縁部は内傾する。口縁部外面と屈曲部に卷貝の屬状圧痕を施す。140～151は外反口縁を基本とする。140～142は卷貝の屬状圧痕を施すもので、140・141は口縁に半円形の突起をもつ。143・144は頸胴部の破片で、143は2段の屈曲が認められる。147・149・150は口縁下に凹線を1条施す。152は外に大きく開く器形で、浅鉢ないし鉢の可能性がある。153は



第28図 A区 落ち込み 出土遺物(6)



第29図 A区 落ち込み出土遺物(7)

頸部から内傾し、口縁は直に立ち上がる器形で、注口土器であろうか。

154～164は後期末葉から晩期中葉の一群である。154は口縁内側を肥厚し、若干外反する。後期末葉の滋賀里I式の浅鉢であろうか。155は斜行する沈線と綾杉状の細沈線を施し、木葉状の文様を構成する。晩期初頭の滋賀里II式併行の浅鉢の可能性が高いが、あまり見られない文様である。156は口縁が若干外反する深鉢で、外面に条痕を施す。157は口縁が内側に短く折れる浅鉢で、外面屈曲部に沈線を施す。ともに晩期前葉～中葉の滋賀里IIIa式に該当する。158・159は外反する口縁の深鉢で、口縁端部上端に刻みを施す。晩期中葉の篠原式に比定できよう。163・164は外面口縁下や頸部に半截竹管による刺突を施すもので、瀬戸内地域の原下層式や谷尻式、前池式に特徴的に認められる。

165～168は晩期後葉の凸帯文土器である。165・166は深鉢で、外面口縁下に凸帯を1条貼

り付け、刻みを施す。口縁は面取りし、端部に刻みを施す。167は外に開く器形の浅鉢で、外面口縁下に凸帯を施す。凸帯上は刻みを施さない。これらは鬼塚期にあたり、従来の編年の滋賀里IV式に比定できる。168は内傾する器形で、口縁に凸帯を1条貼り付ける。凸帯上は浅い刻みを施す。晩期終末の長原式に比定できよう。

169～186は無文土器で、大半は後期後葉の宮滝式に伴うものと思われる。169～171は頸部で屈曲し口縁が内屈する深鉢である。169は口縁端部を面取りし、170・171は端部を丸くおさめる。172～176は外反口縁で、頸部がすぼまる器形の深鉢である。172～174は口縁端部を面取りし、175・176は丸くおさめる。177～184は口縁が外にひらく深鉢である。177～182は端部を面取りし、183・184は丸くおさめる。177は内外面とも二枚貝条痕で、条痕原体の違いから晩期前葉に降る可能性がある。181・182は口縁を肥厚する。179は外面に顯著な条痕が認められる。185は口縁が内彎する器形で、浅鉢と考えられる。186は内傾する体部で頸部から口縁にかけて直に立ち上がる。器形から注口土器と思われる。

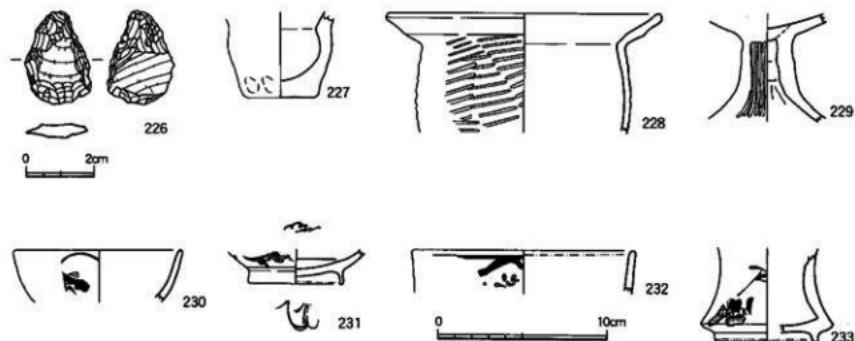
187～194は底部片である。いずれも底面の中心部が凹むもので、宮滝式に伴うものであろう。

195～215は弥生土器で、195～197は壺の口縁部、198～215は壺または甕の底部である。いずれも弥生時代後期のものである。

216～219は土師器で、216・217は古墳時代中期の高杯で、216は稜線をもつ杯部である。218は古墳時代前期の小型丸底の壺、219は甕である。

220・221は須恵器で220は杯身、225は把手付椀である。いずれも古墳時代中期のものである。

222～225は磁器で、222・223は椀、224は湯呑み、225は盃である。江戸時代のものである。



第30図 B区 第2層 出土遺物

B区(第5・30図)

トレンチは山中川の氾濫原にあたり、平成5(1993)年の堤防完成までは水害の頻発地域であった。現況の高さはおよそT.P.+21.00mである。

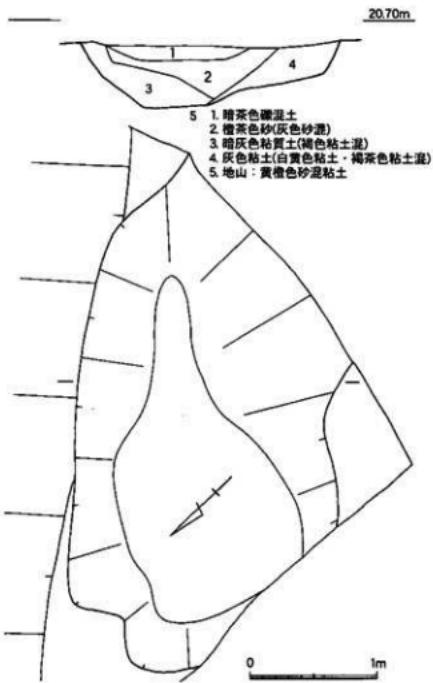
トレンチの基本層序は第1層耕作土、第2層淡灰茶色土、第3層橙色粘土、第4層黄橙色砂混粘土の地山である。

遺物は第2層から石器をはじめとする縄文時代～近世期の遺物が出土した。

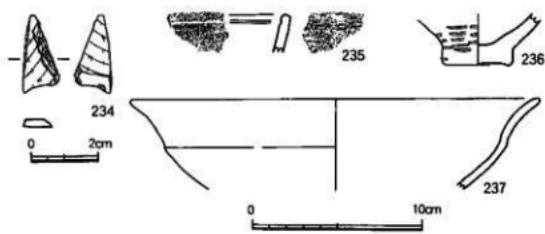
226はサヌカイト製の石器未成品、227～229は弥生土器で、227は口縁部を欠く小壺、228は外面に平行タタキが残る壺、229は高杯の脚部である。すべて弥生時代後期のものである。230～233は磁器で、230・231は碗、232は色絵の段重、223は瓶である。

第3層は耕作の歴跡で、遺物は出土しなかったが、近世期の耕作層である。

遺構は土坑を1基、溝を1条、自然河川を1条検出したが、トレンチのほぼ全体が自然河川であり、南端でわずかに肩を検出した。河川埋没後に土坑5と溝1を構築している。



第31図 B区 土坑5 平面図・断面図



第32図 B区 土坑5 出土遺物

土坑5(第5・31・32図)

自然河川埋没後に築かれた土坑で、東西2.70m以上、南北3.00m以上、深さ0.55mを測る。埋土は第1層暗茶色礫混土、第2層灰色砂混じりの橙茶色砂、第3層褐色粘土混じりの暗灰色粘質土、第4層白黄色粘土と褐茶色粘土混じりの灰色粘土である。

遺物は第1層からサヌカイト剥片、弥生土器、第3層からサヌカイト剥片、縄文土器、弥生土器、炭、第4層から須恵器、製塙土器が出土したが、自然河川埋没後に築かれているため、近世期以降の土坑である。図化できたのは以下の遺物である。

234はサヌカイト製の二次加工剥片である。235は縄文土器で内面に細い沈線を施す広口の深鉢で、端部は丸くおさめる。宮滝式である。

236・237は弥生土器で、236は外面に平行タタキのある甕底部、237は有稜高杯の杯部。いずれも弥生時代後期のものである。

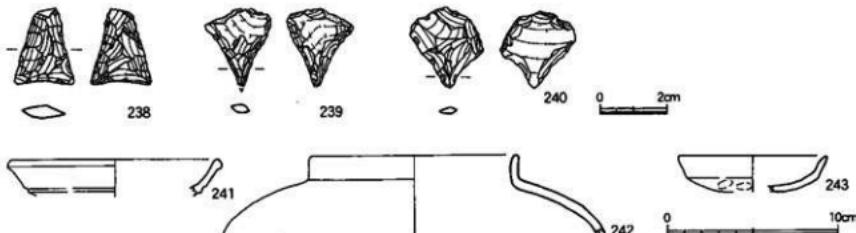
溝1(第5図)

自然河川埋没後に築かれたトレンチを横断する石組の溝で、長さ5.40m以上、幅0.70m、深さ0.90mを測る。直径25cm程度の石が平らな面を内側に向け、整然と並べられていた。埋土は上層が灰色粘土、下層が茶灰色砂混土である。

遺物は上層からサヌカイト剥片、縄文土器、弥生土器、土師器、土師質土器、陶器が出土した。近世期以降の溝である。図示できる遺物はなかった。

自然河川(第5・33~46図)

男里川の支流である山中川の旧河道と思われる。トレンチの南端で肩の一部を確認できたが、B区の大部分が河川内である。多くの遺物が出土したが、台地上からの崩落または人為的に廃棄されたものと推定される。地山面では長さ約2.50m、幅1.40m、高さ約0.40mで、直径30cm程度の列石が3段残存していた。臼(エリ)の可能性も考えられるが、詳細は不明である。



第33図 B区 自然河川第1層 出土遺物

埋土は河川の場所によって細かく分層できるが、大きく4層に捉えた上で遺物の報告をする。

238～243は第1層から出土した。238は平基無茎式石錐で、平面形状は二等辺三角形を呈する。239・240は石錐である。ともにサヌカイト製である。241・242は須恵器で、241は壺の口縁部、242は短頸壺。243は土師質小皿である。

244～279は第2層から出土した。244は平基無茎式石錐で、平面形状は二等辺三角形を呈する。245は石錐である。ともにサヌカイト製である。

246～255は縄文土器である。246は内傾する口縁の深鉢で、外面に沈線2条を施し、口縁から沈線間と沈線から頸部屈曲部間に刻みを施す。口縁は小波状を呈する。元住吉山I式に比定できる。247は内面口縁下に沈線と刻みを施す広口の深鉢ないし鉢である。外面は条痕を施し、口縁端部は面取りする。元住吉山II式であろう。248は内面口縁下に沈線を施すもの。口縁はやや肥厚し、端部は丸みをもつ。宮滝I式に比定できよう。249は口縁下に刻目凸帯を1条施す深鉢である。口縁は丸くおさめ、端部には刻みを施す。滋賀里IV式と思われる。

250～253は無文土器の深鉢である。250は内傾口縁、251・252は外反口縁、253は外に開く口縁である。254・255は底部で、いずれも底面が凹む。宮滝式に伴うものであろう。

256～371は弥生土器で、いずれも後期後半から終末期にあたる。

256～261は壺もしくは甕の蓋である。256は外面に平行タタキを施し内面はナデ調整、257～259は内外面ともナデ調整、260は内外面ともハケ目調整、261は内外面ともナデ及びハケ目調整である。

262～304は壺で、口頸部の形態によって数種類に分類される。262～284は広口壺である。262～267は口頸部が短く外反し、端部に面をもつ。268～272は口頸部が外反し、端部が垂下して面をもつ。268・269は端面に竹管文を施す。270・271は端面に凝凹線を施し、270には円形浮文の剥離痕がある。273～284は口頸部が上外方へ伸び、口縁部は外反する。273・274は端面に円形浮文を貼り付けており、274は円形浮文に竹管文を施している。

285～292は長頸壺で、285・286は筒状の太い頸部に、外反する広口の口縁がつく。287は口頸部が外湾しながら上外方に伸びる。288～290はやや開きながら上方へ伸びる。289・290は球形の体部に比べて頸部が長い。291・292は口縁部を欠くが長頸壺であろう。

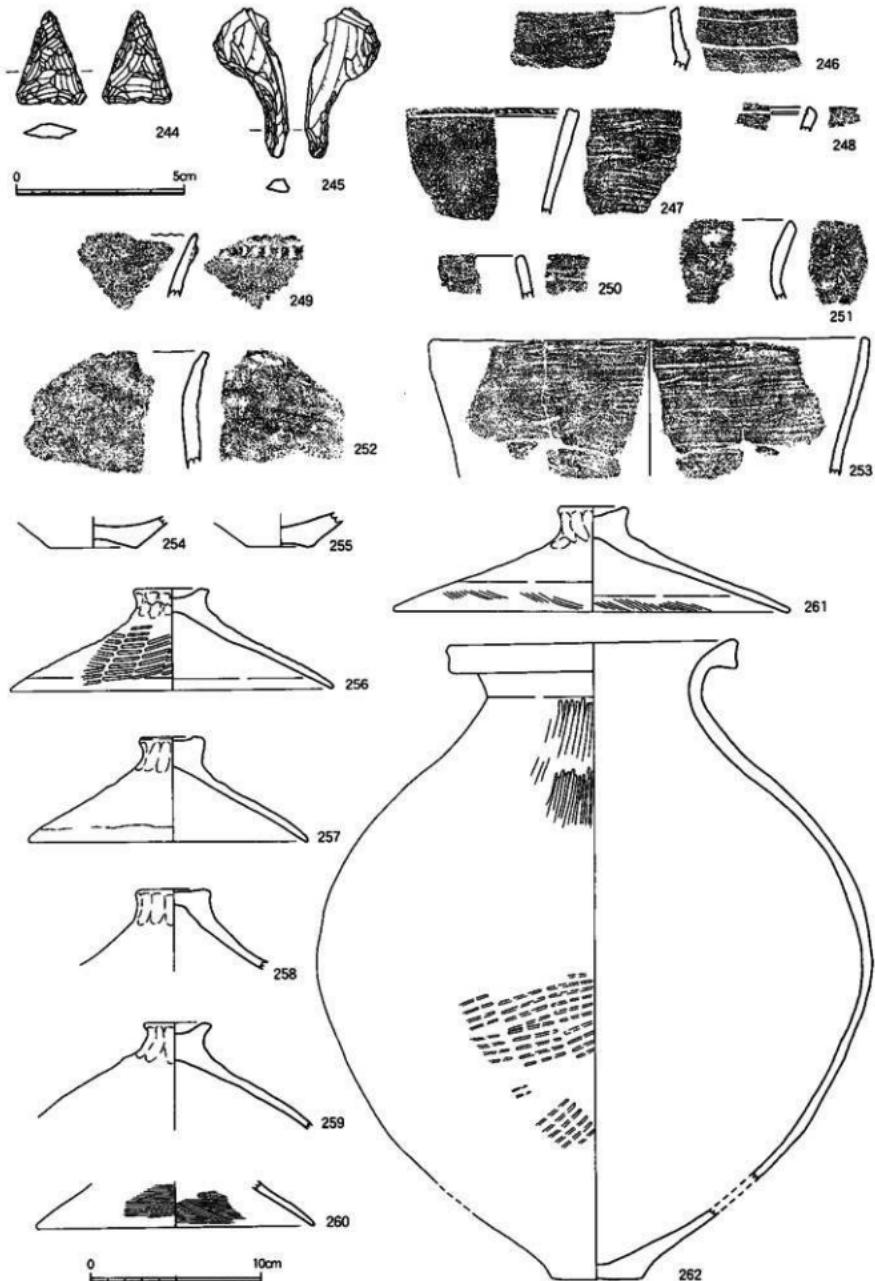
293・294は二重口縁である。293は口縁の外反度が増し、擬口縁との接合部がやや突起状に張り出す。294は口縁部を厚く仕上げている。

295・296は小型の壺で、体部の下方が張り出し、突出した底部がつく。295は口頸部は短く、上外方に開く。

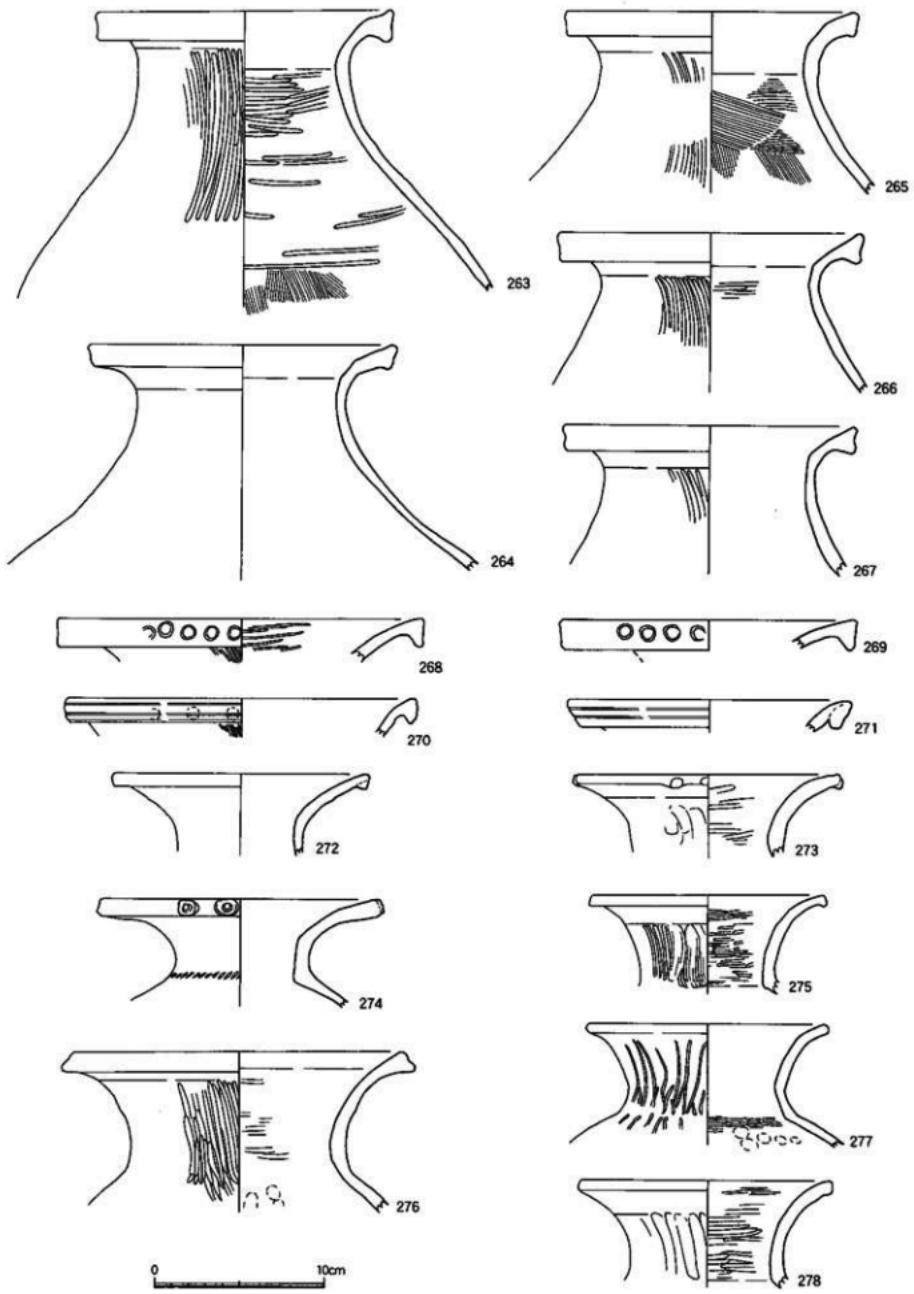
297・298は底体部、299～303は底部である。297～300の底部は突出しており、300は木葉痕が残る。

304は球形の体部で絵記号文を描いているのが特徴的であるが、なにを表しているかは不明である。

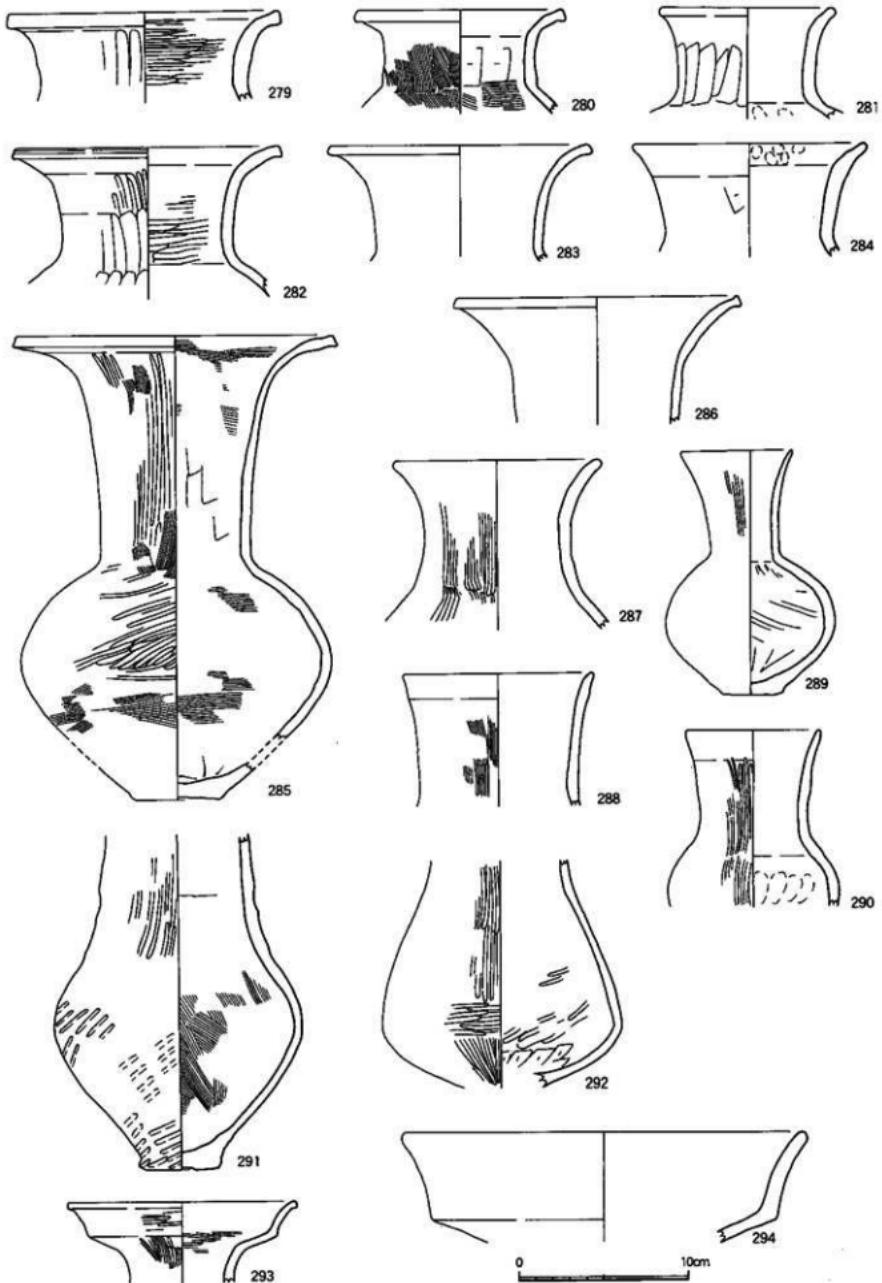
305～324は鉢である。305～313は口縁部が上外方へ短く開き、外面に平行タタキ成形を残すものと、ヘラミガキ調整を施したものがあるが313は手づくね。309～313は小型の鉢である。314～324は分割成形手法による甕の体部下半をそのまま鉢にしたもので、外面は平行タタキ成形、内面はハケ目調整である。316～320は小型の鉢である。外面に平行タタキ成形が



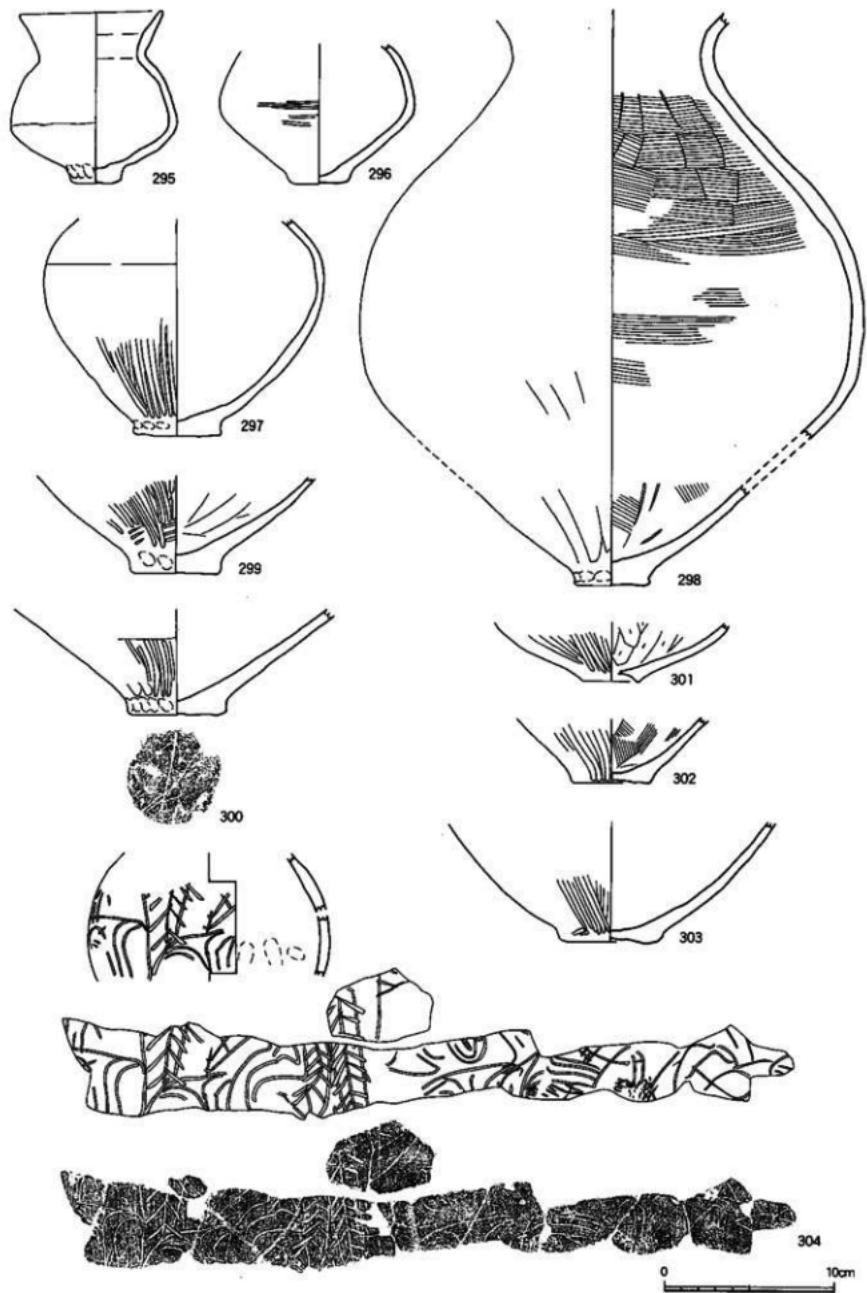
第34図 B区 自然河川第2層 出土遺物(1)



第35図 B区 自然河川第2層 出土遺物(2)



第36図 B区 自然河川第2層 出土遺物(3)



第37図 B区 自然河川第2層 出土遺物(4)

残り、内面はハケ目調整である。

325～330は有孔の鉢又は壺の底部である。底部に穿孔したもので、外面に平行タタキ成形が残る。325～329は突出した底部に複数の小孔、330は平らな底部中央に円孔を穿つ。

331～354は壺である。外面は平行タタキ成形で、内面はハケ目調整である。口縁部は丸くおさめるもの、少し屈曲するもの、受け口状口縁などがある。大きさは中型がほとんどだが、350は大型である。354は小型の壺で、平行タタキを丁寧にナデ消ししている。

355～363は高杯である。355～361の杯部はやや丸みのある楕形で、口縁部は明瞭な稜をもち、外反して上外方へ伸びる。口縁部高が杯部高の2分の1を占める。362の杯部は形状的には同じだが、杯部は小型で稜はゆるく、口縁部は外反しながら上方へ伸びる。363は杯部に稜がなく楕形である。いずれも杯底の粘土充填が確認される。脚部は柱状部が下方に開がりながら下った後、裾部はラッパ状に広がり、いずれにも複数の円形スカシを穿つ。

364・365は真蛸壺で、外面は平行タタキ成形が顕著に残る。364の内面はナデ調整。365の内面はハケ目調整で、底部には木葉痕がみられる。

366～371は製塩土器で、いずれも外面は平行タタキ成形。366・367は体部が外上方へ大きく開く。脚部は円柱状を呈し、裾部が開くもので、366～369は中空で基部から下外方へ広がる。370・371は実身で、裾部が広がる。

372・373は土師器である。372は杯。373は和泉型の土釜で、10世紀頃のもの。

374は土師質土器の真蛸壺。

375～377は須恵器。375・376は壺で、内外面とも指おさえが残る。377は高台のある壺底部である。

378・379はともに内黒の黒色土器である。378は楕で、10世紀のものである。379は鉢である。

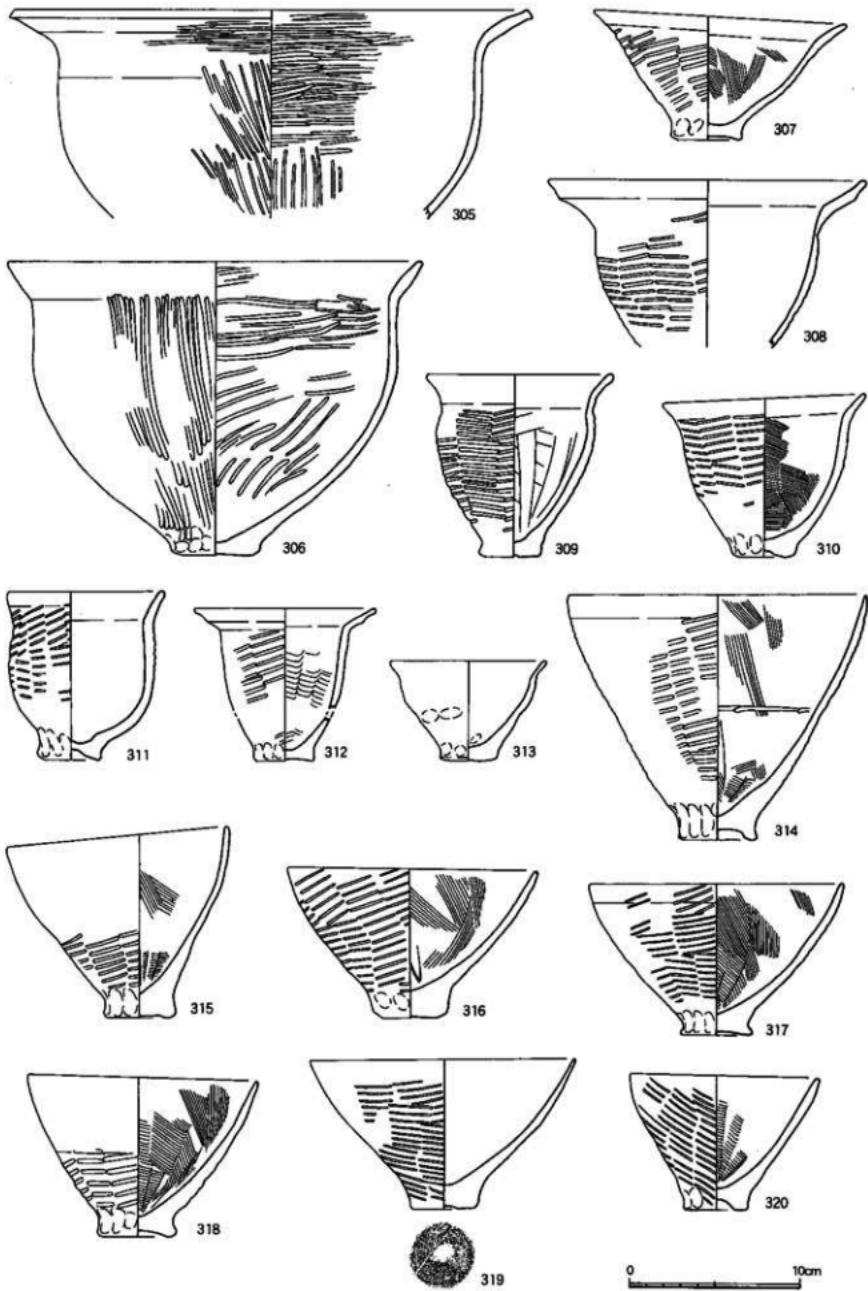
380～424は第3層から出土した。380は石鎚である。下半を欠損するが、柳葉状を呈するものと思われる。

381～388は繩文土器である。381は波状口縁の深鉢で、波頂部は突起をもつ。外面は2段の細い区画沈線内に貝殻背面压痕による擬繩文を施す。元住吉山I式に比定できる。382は内面口縁下に沈線と刻みを施す広口の深鉢ないし鉢である。口縁部は肥厚せず、端部は丁寧に面取りする点から、元住吉山II式に該当しよう。383は内傾する口縁で、外面に細い沈線を1条施す。口縁端部は面取りする。元住吉山II式から宮滝1式であろうか。384は口縁に刻目凸帯を施す深鉢である。凸帯は台形状を呈し、貼り付けのナデは丁寧である。晩期後葉の船橋式に比定できる。

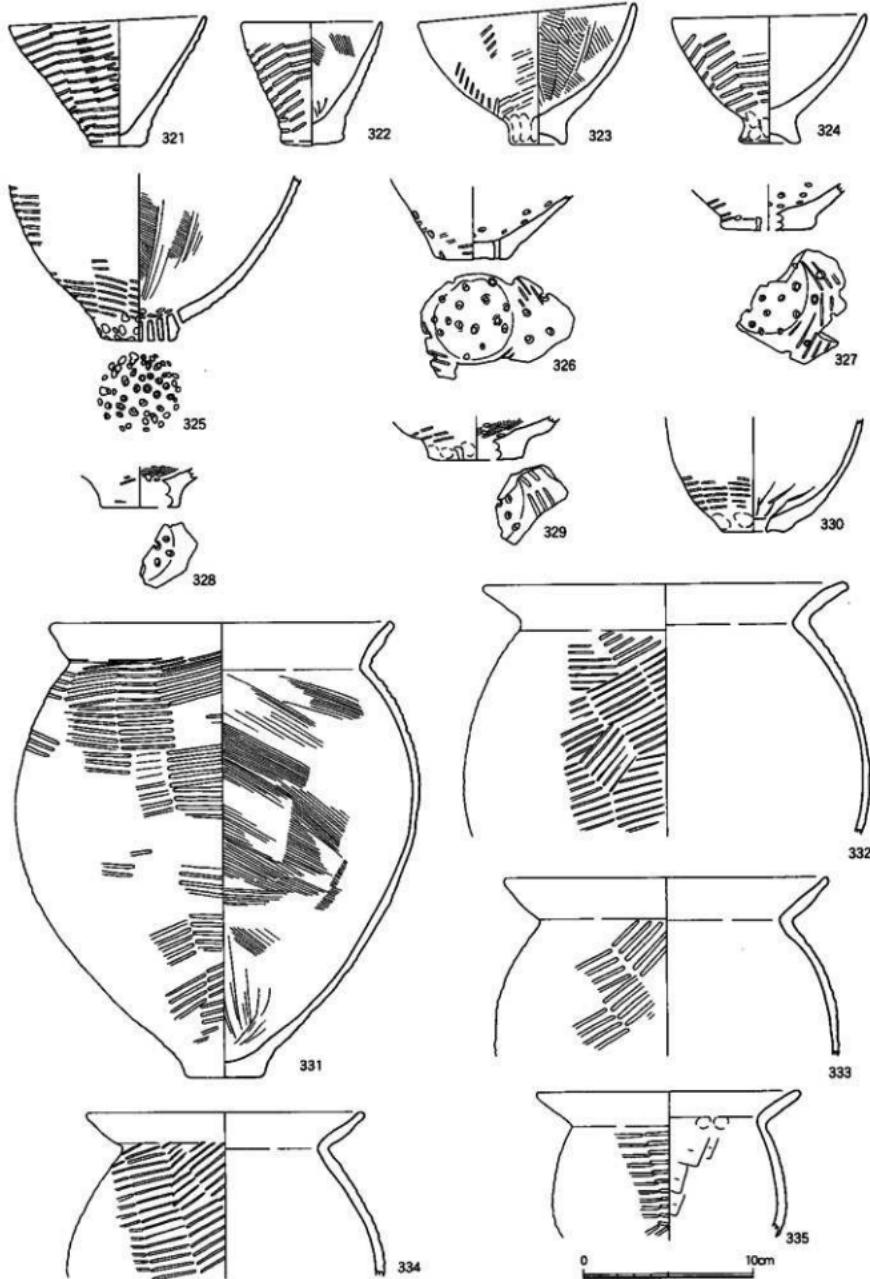
385～388は無文土器の深鉢で、385～387は口縁部をやや肥厚する。385・386の口縁端部は面取りし、387は丸くおさめ、388は先尖りである。いずれも後期に属すると思われ、多くは宮滝式に伴うものであろう。

389～422は弥生土器で、後期から終末期のものである。389・390は壺もしくは壺の蓋で、外面はナデ、内面はハケ目調整である。

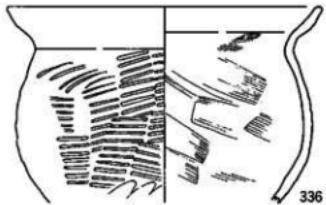
391～400は広口壺である。391～394は口頸部が短く外反し、端部に面をもつ。395・396は口頸部が外反し、口縁端部が垂下して面をもち、396は端面に竹管文を施す。397～400は口縁部が上外方へ外反する。



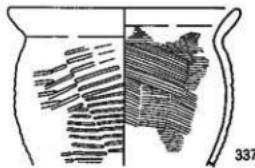
第38図 B区 自然河川第2層 出土遺物(5)



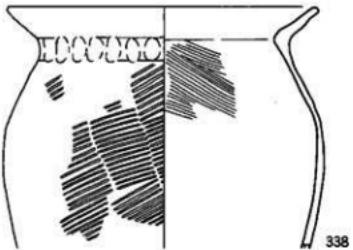
第39図 B区 自然河川第2層 出土遺物(6)



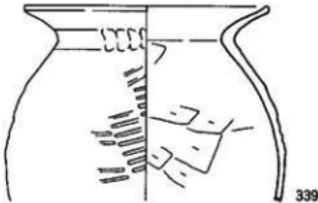
336



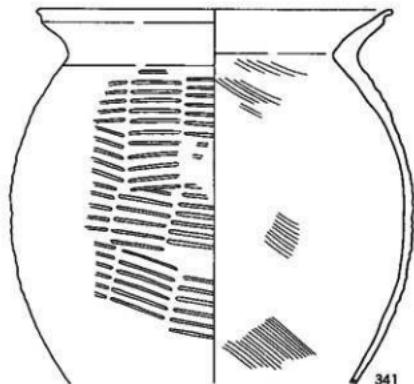
337



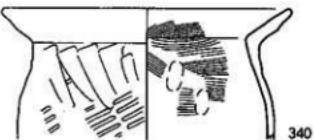
338



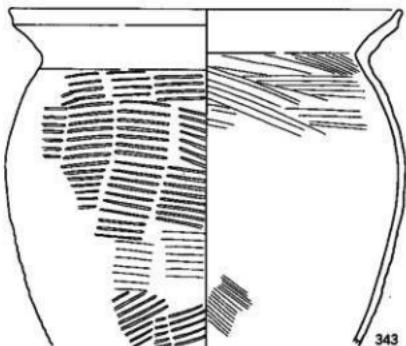
339



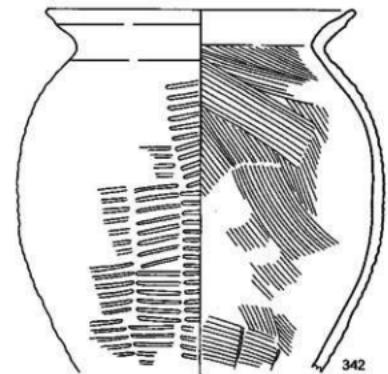
341



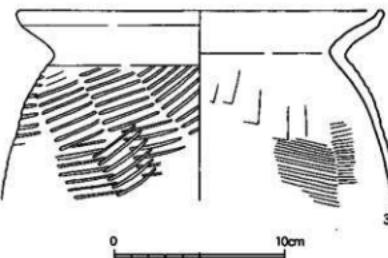
340



343



342

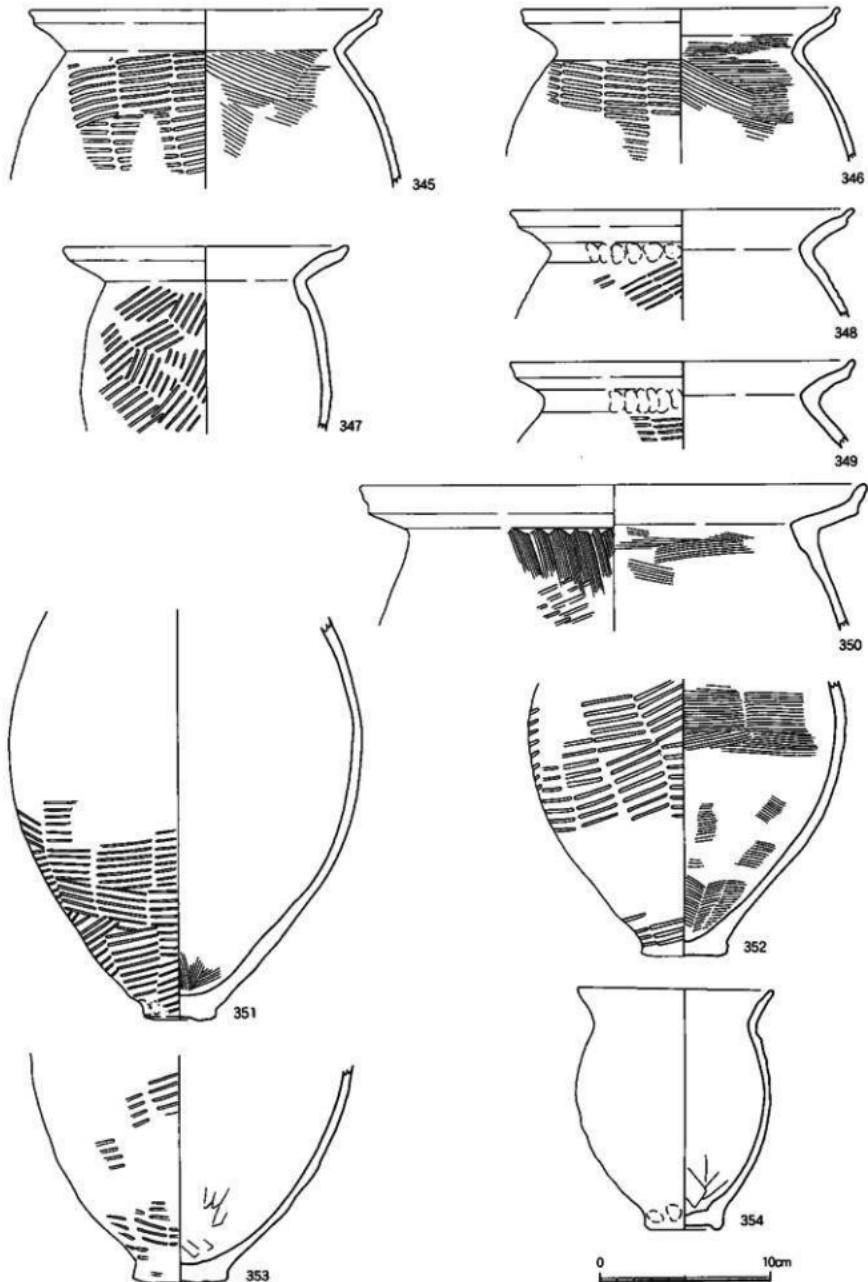


0

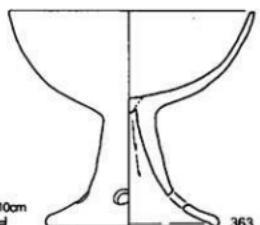
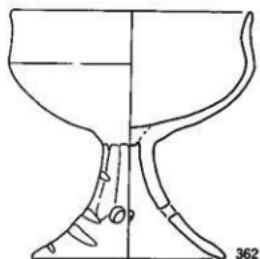
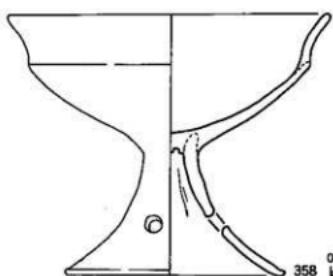
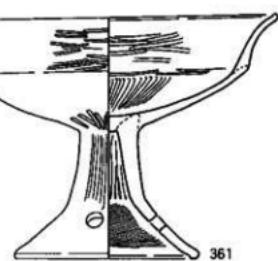
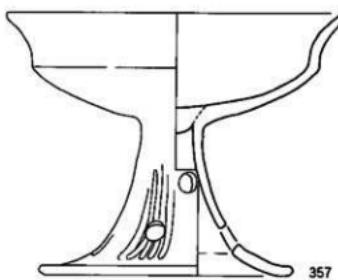
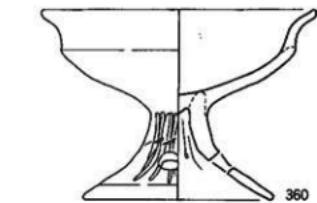
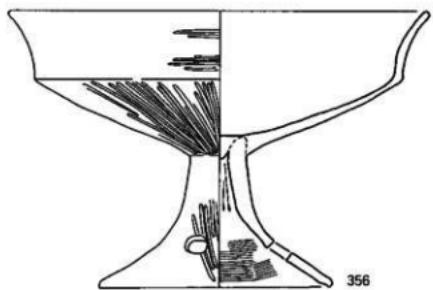
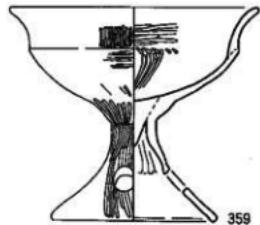
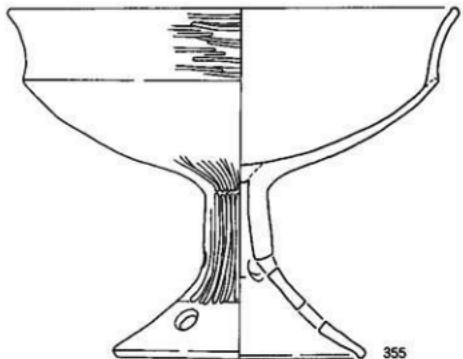
10cm

344

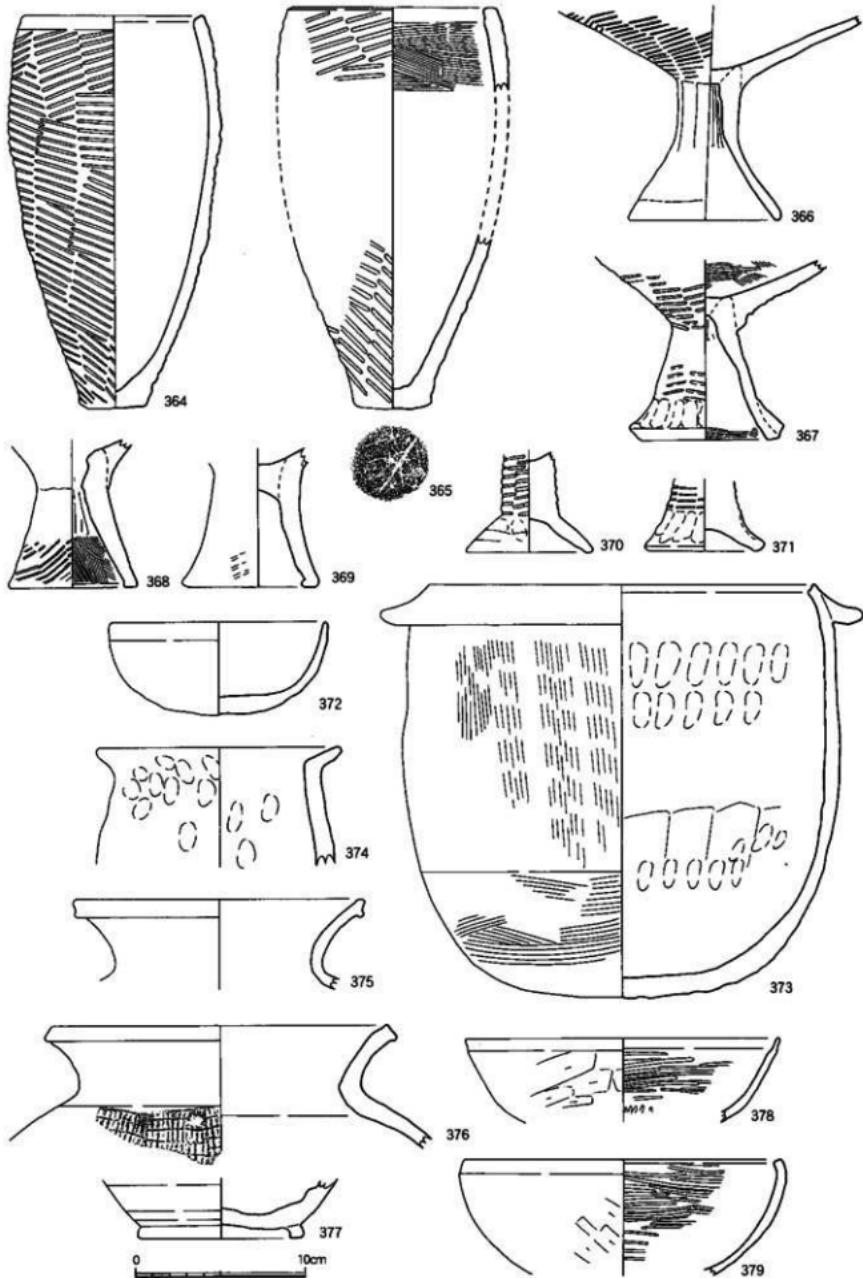
第40図 B区 自然河川第2層 出土遺物(7)



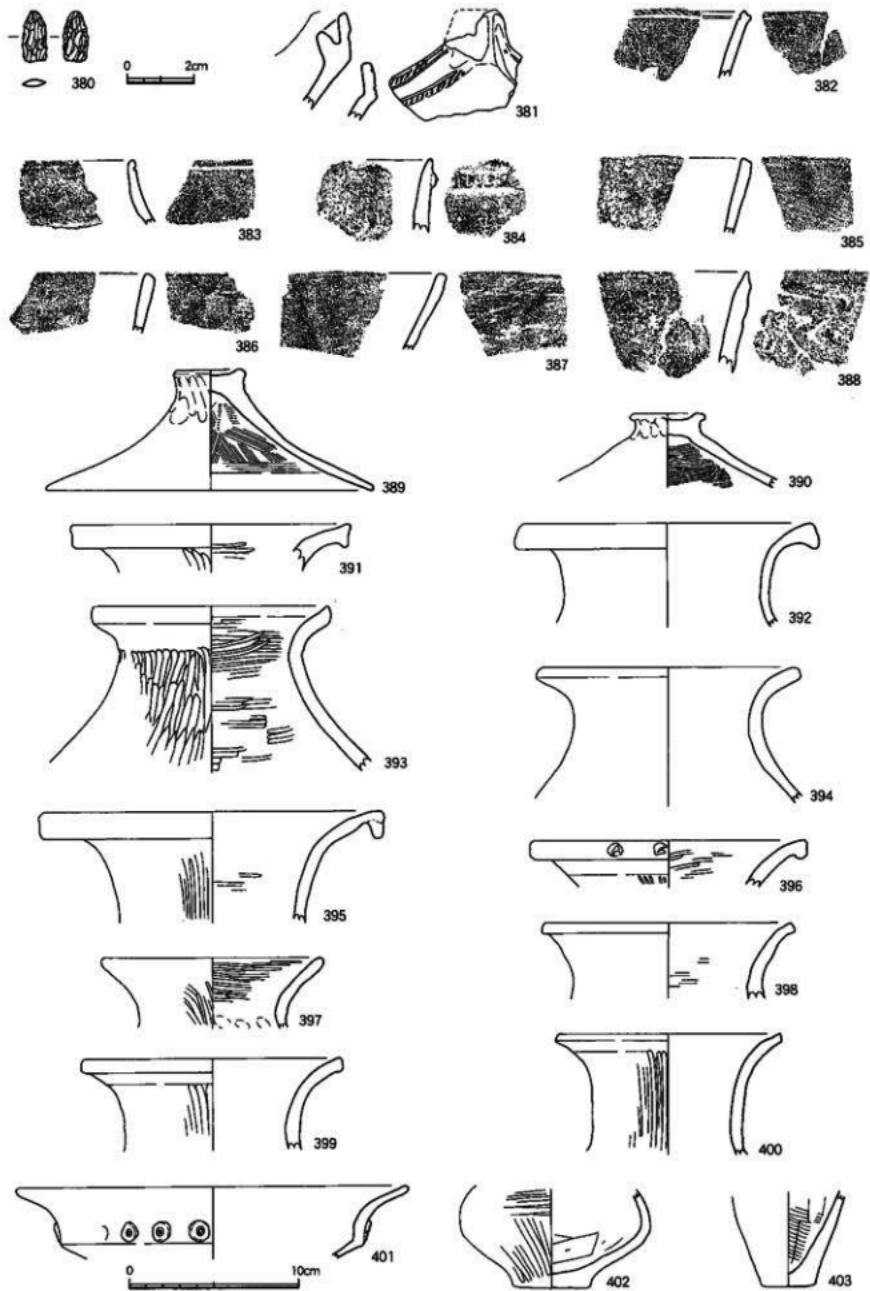
第41図 B区 自然河川第2層 出土遺物(8)



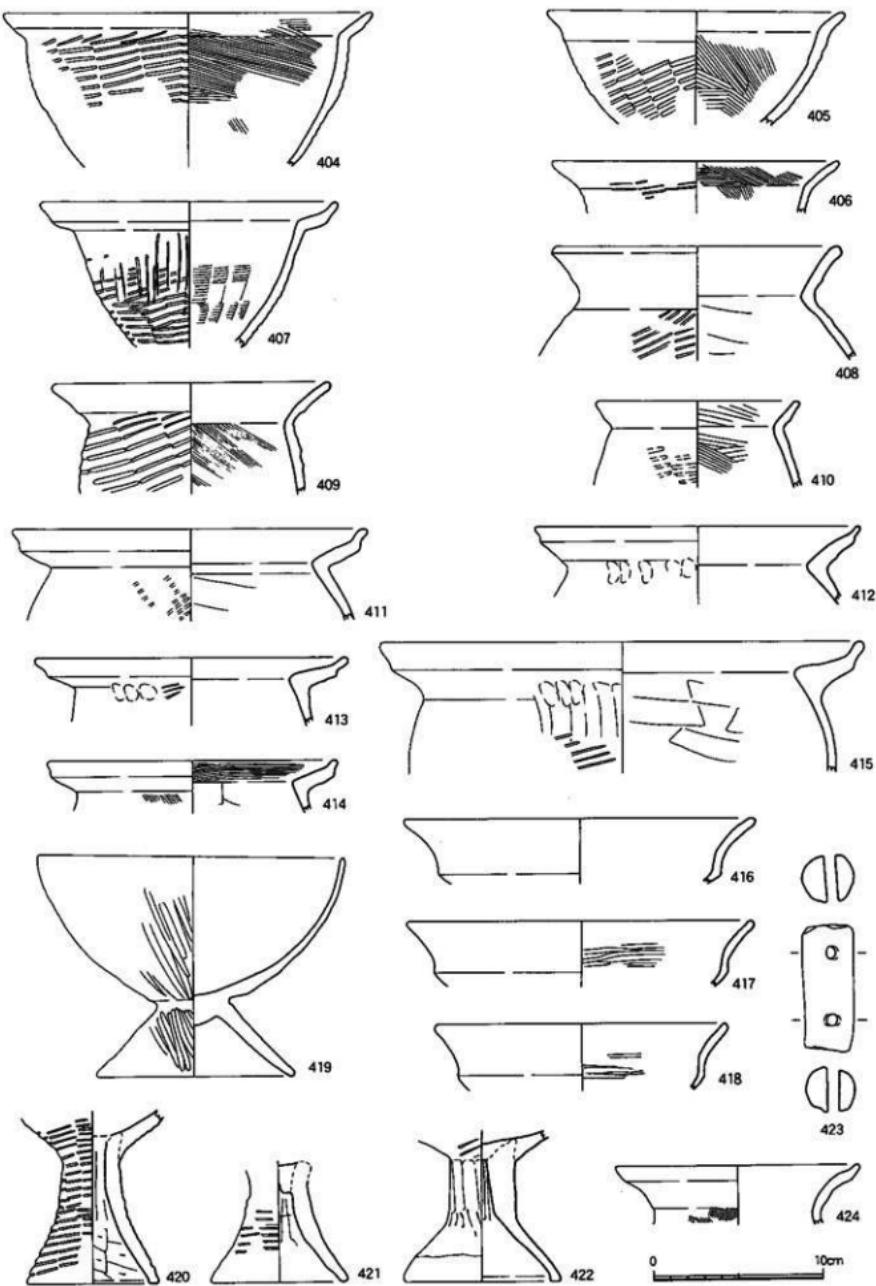
第42図 B区 自然河川第2層 出土遺物(9)



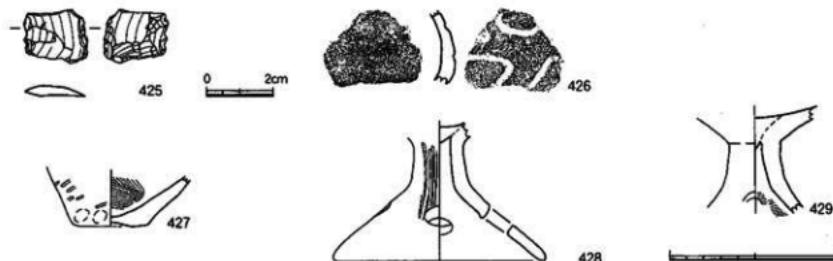
第43図 B区 自然河川第2層 出土遺物(10)



第44図 B区 自然河川第3層 出土遺物(1)



第45図 B区 自然河川第3層 出土遺物(2)



第46図 B区 自然河川第4層 出土遺物

401は二重口縁で、竹管文のある円形浮文を貼り付ける。

402・403は小型の壺で口頸部を欠く。403は蛸壺の可能性も考えられる。

404～407は鉢で、口縁部が上外方へ短く開く。外面に平行タタキ成形をそのまま残し、内面はハケ目調整を施す。

408～415は甕である。口縁部を丸くおさめるもの、少し屈曲するもの、受け口状口縁などがある。大きさは中型がほとんどだが、415は大型である。

416～419は高杯である。416～418は口縁部が明瞭な稜をもって外反して上外方へ伸びる。419は杯部に稜がなく楕円形を呈し、脚部は下外方に開く。

420～422は製塩土器の脚部で、外面は平行タタキ成形。420・421は脚柱部が中空の円柱状を呈し、裾部は基部よりゆるやかに下外方に開く。422も脚柱部は中空だが、基部から外方へ下った後、屈曲して下外方へ開く。

423・424は土師質土器である。423は2つの孔を穿った有孔土錘で、重さは76gの完形品である。424は甕である。

425～429は第4層から出土した。425はサヌカイト製の楔形石器である。426は縄文土器の深鉢である。内彎する器形で、外面に沈線文を施す。中期末葉～後期初頭であろう。

427～429は弥生土器で、427は壺または甕の底部、428・429は高杯である。428は脚部に円形のスカシを四方に穿つ。

出土遺物から第1層は近世期、第2層は中世期、第3層は平安時代、第4層は弥生時代である。

第4章 まとめ

今回報告した調査区は(財)大阪府文化財調査研究センター(以下、センターと表記)の調査区の東側に位置し、台地上のA区はセンター調査区の第2区、北側の氾濫原であるB区は第1区に隣接する。A区とB区の標高差は約3.00mである。さらに調査の便宜上、A区を3つのトレンチに分割して調査を行った。

A区の基本層序は第1層耕作土、第2層旧耕作土、第3層淡黄茶灰色土、第4層濃茶色土混風化礫の地山である。第3層は1トレンチでのみ検出され、近世期の遺物が含まれている。センターの調査でも包含層から大量の縄文土器が出土しているが、それ以降の時期の遺物もある程度出土している。

遺構は地山面で縄文時代後期の土坑3基、ピット2基、弥生時代後期の遺物を含む土坑1基、ピット2基を検出した。落ち込みからは縄文時代中期末から晚期終末の縄文土器が多数出土し、その多くは宮滝式の土器が占めていたものの、最下層からは近年の土留めに使われたと思われる木杭が検出され、近年まで崩落と修繕を繰り返し行っていたと思われる。

特筆すべきは、土坑1と土坑3から骨片が出土したことである。土坑3からは獸骨に混じって人骨が8点出土し、内1点は歯槽の一部であった。どちらも宮滝式の土器を主に含む縄文時代の土坑である。人骨の出土から、土坑の性格は墓であることが想定されるが、詳細は不明である。人骨及び獸骨は、すべて焼成を受けていたものであった。

センターの調査では、縄文時代後期から晩期を中心とする土坑が約300基検出されているが、人骨片の出土は皆無である。埋土の残存脂肪分析では、動物由来のコレステロールが残存しているようであるが、それがヒトなのか、イノシシやシカなのかは識別できなかった。

B区の基本層序は第1層耕作土、第2層淡灰茶色土、第3層橙色粘土、第4層黄橙色砂混粘土の地山である。包含層はすべて近世期の遺物を伴うものである。地山面で土坑1基、自然河川1条を検出した。土坑は近世期以降のものである。自然河川は弥生時代後期から終末期の遺物を最下層に含んでおり、河川底では人頭大の石を3段に並べた施設を検出し、鉢の可能性が考えられる。その後、近世期に埋没し、耕作が行われたようである。

以上の結果は、センターの調査で得られたものに沿うもので、縄文時代から続く土地利用の過程の一端を本調査においても捉えることができた。

向出遺跡は調査を重ねていくことにより、その成果も着々と増えつつある。今後も調査を継続していく上で、当遺跡の様相についてより深く検討を加え、保存と活用に繋がる事業を推し進めていくことで、遺跡の重要性が広く周知されることを望む。

遺物観察表

| 番号 | トレンチ名 | 出土地點・層位 | 断面図 | 剖面図 | 手法 | 削土 | 洗成 | 色調 | 備考 |
|----|-------------|------------------------|-----------------------------------|--------------------------|------------------|----------------|-----|-------------------------|--------------------------|
| 1 | A区 2トレンチ | 第3回 後晉灰土色 石頭 | サスカイト 南存長 1.80 内面 ナダ | 西存高 1.35 内面 ナダ | | | | 灰黑色 外 内 层 层 | 平昌無基式 先秦灰組 |
| 2 | A区 2トレンチ | 第3回 周文王塔 口径 | 西存高 2.30 内面 ナダ | 西存高 1.40 内面 ナダ | 手 口 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 |
| 3 | A区 2トレンチ | 第3回 周文王塔 口径 | 西存高 5.00 内面 ナダ | 西存高 4.70 内面 ナダ | 手 口 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 |
| 4 | A区 1トレンチ | 第3回 後晉灰土色 石頭 | 西存高 3.90 内面 ナダ | 西存高 3.60 内面 ナダ | 手 口 削 洗 | 削 (削粉・削合む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 |
| 5 | A区 1トレンチ | 第3回 後晉灰土色 石頭 | 西存高 4.50 内面 ナダ | 西存高 4.20 内面 ナダ | 手 口 削 洗 | 削 (削粉・削合む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 |
| 6 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.30 内面 ナダ | 西存高 1.20 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 完形 | |
| 7 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.80 内面 ナダ | 西存高 1.60 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 完形 | |
| 8 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.80 内面 ナダ | 西存高 1.15 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 先秦灰組 | |
| 9 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.80 内面 ナダ | 西存高 1.10 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 先秦灰組 | |
| 10 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.90 内面 ナダ | 西存高 1.30 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 完形 | |
| 11 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.80 内面 ナダ | 西存高 1.20 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 完形 | |
| 12 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.80 内面 ナダ | 西存高 1.50 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 秦漢灰組 | |
| 13 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.50 内面 ナダ | 西存高 1.50 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 完形 | |
| 14 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.80 内面 ナダ | 西存高 1.60 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 先秦灰組 | |
| 15 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 2.40 内面 ナダ | 西存高 2.90 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 先秦灰組 | |
| 16 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 2.70 内面 ナダ | 西存高 3.00 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 先秦灰組 | |
| 17 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 3.50 内面 ナダ | 西存高 3.10 内面 ナダ | | | | 白昌無基式 先秦灰組 | |
| 18 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 9.00 内面 ナダ | 西存高 4.60 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉・削合む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 突起付外反平隠 |
| 19 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 8.60 内面 ナダ | 西存高 4.80 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 突起付内隠平隠 |
| 20 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 7.40 内面 ナダ | 西存高 3.60 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉・削合む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反凸隠 外反・内隠口隠に底隠 |
| 21 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 5.60 内面 ナダ | 西存高 5.60 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 22 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 3.60 内面 ナダ | 西存高 3.60 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉・削合む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 23 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 22.00 内面 ナダ | 西存高 14.00 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉・削合む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 |
| 24 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 2.20 内面 ナダ | 西存高 2.20 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 25 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 11.00 内面 ナダ | 西存高 10.20 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 中や好 | 灰 层 层 层 | 有文 横状口隠 |
| 26 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 6.20 内面 ナダ | 西存高 6.20 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 内隠口隠 |
| 27 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 7.80 内面 ナダ | 西存高 26.30 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (小石・削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 28 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 6.00 内面 ナダ | 西存高 25.40 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 29 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 4.80 内面 ナダ | 西存高 4.80 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 30 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 3.00 内面 ナダ | 西存高 3.00 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 31 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 16.30 内面 ナダ | 西存高 41.40 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉多く含む) | 良好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 32 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 7.50 内面 ナダ | 西存高 30.40 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (小石・削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |
| 33 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 2.40 内面 ナダ | 西存高 2.40 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 |
| 34 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 3.20 内面 ナダ | 西存高 2.40 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 |
| 35 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 8.70 内面 ナダ | 西存高 7.80 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 中や好 | 灰 层 层 层 | 有文底 |
| 36 | A区 1トレンチ | 土塁1 周文王(灰化物組) 石頭 | サスカイト 南存長 1.80 内面 ナダ | 西存高 1.80 内面 ナダ | 手 削 洗 | 削 (削粉含む) | 真好 | 灰 层 层 层 | 有文 外反口隠 |

| 固有番号 | トレンチ名 | 出土地名・場所 | 種類 | 計画高 (cm) | 手 | 足 | 地 | 壁 | 底 | 色 | 質 |
|------------|-------|------------------|-------------|-------------------------------------|------------------|------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------------|
| 新10号 37 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 1.10 0.95 0.75 0.50 | 手 横 幅 厚 | 1.10 0.95 0.75 0.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 四面削式 先端尖 |
| 38 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 1.45 1.00 0.75 0.50 | 手 横 幅 厚 | 1.45 1.00 0.75 0.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 四面削式 はざ形 |
| 39 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 1.55 1.35 0.85 0.50 | 手 横 幅 厚 | 1.55 1.35 0.85 0.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 四面削式 はざ形 |
| 40 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 3.90 2.40 2.05 1.75 | 手 横 幅 厚 | 3.90 2.40 2.05 1.75 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 四面削式 はざ形 |
| 41 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 14.00 8.50 4.50 | 手 横 幅 厚 | 14.00 8.50 4.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端外反平滑 |
| 42 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 19.10 13.50 8.50 | 手 横 幅 厚 | 19.10 13.50 8.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端外反直状口縫 |
| 43 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 8.50 5.50 | 手 横 幅 厚 | 8.50 5.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 44 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.90 2.20 | 手 横 幅 厚 | 2.90 2.20 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 45 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.50 2.00 | 手 横 幅 厚 | 2.50 2.00 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 46 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 13.10 8.00 | 手 横 幅 厚 | 13.10 8.00 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端外反平滑 |
| 47 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 7.10 4.50 | 手 横 幅 厚 | 7.10 4.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端外反平滑 |
| 48 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.20 1.50 | 手 横 幅 厚 | 2.20 1.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 49 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 14.10 9.00 | 手 横 幅 厚 | 14.10 9.00 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 内反口縫 |
| 50 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 3.50 2.50 | 手 横 幅 厚 | 3.50 2.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 内反口縫 |
| 51 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.30 1.50 | 手 横 幅 厚 | 2.30 1.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 内反口縫 |
| 52 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.60 1.50 | 手 横 幅 厚 | 2.60 1.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 内反口縫 |
| 53 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 5.00 2.90 | 手 横 幅 厚 | 5.00 2.90 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 内反口縫 内側に付ける |
| 54 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 3.30 2.50 | 手 横 幅 厚 | 3.30 2.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 55 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 22.60 16.00 | 手 横 幅 厚 | 22.60 16.00 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 56 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 6.30 4.50 | 手 横 幅 厚 | 6.30 4.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 57 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 3.50 2.50 | 手 横 幅 厚 | 3.50 2.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 58 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 4.00 2.50 | 手 横 幅 厚 | 4.00 2.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 59 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 6.40 4.50 | 手 横 幅 厚 | 6.40 4.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 60 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 8.30 6.00 | 手 横 幅 厚 | 8.30 6.00 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 61 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 3.00 2.50 | 手 横 幅 厚 | 3.00 2.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 62 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 13.60 10.00 | 手 横 幅 厚 | 13.60 10.00 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 |
| 63 | 2トレンチ | 土塁3 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.80 4.00 | 手 横 幅 厚 | 2.80 4.00 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 外反口縫 内側に付ける |
| 64 | 3トレンチ | ピット5 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 1.75 2.50 | 手 横 幅 厚 | 1.75 2.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |
| 65 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 4.10 2.50 | 手 横 幅 厚 | 4.10 2.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 内反口縫 |
| 66 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.55 2.00 | 手 横 幅 厚 | 2.55 2.00 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |
| 67 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.00 1.60 | 手 横 幅 厚 | 2.00 1.60 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |
| 68 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 1.75 1.50 | 手 横 幅 厚 | 1.75 1.50 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |
| 69 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.55 2.10 | 手 横 幅 厚 | 2.55 2.10 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |
| 70 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.55 2.15 | 手 横 幅 厚 | 2.55 2.15 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |
| 71 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 2.25 1.75 | 手 横 幅 厚 | 2.25 1.75 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |
| 72 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 1.25 1.85 | 手 横 幅 厚 | 1.25 1.85 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |
| 73 | 3トレンチ | 馬出(北文化期) | サクヨウト 石塼 | 積存高 0.50 0.30 | 手 横 幅 厚 | 0.50 0.30 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 手 横 幅 厚 | 赤茶 茶 茶 茶 | 赤茶削式 先端尖 |

| 詳細番号 | トレーン番号 | 出土場所・培植 | 被積物 | 荷重 (kg) | 手 法 | 施 土 | 織成 | 色 調 | 備 考 |
|-------------|-------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|--------------------|---------------------------|----|--------------------|------------------|
| 02288 74 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 | サスカイト 石墨 | 2.15 1.30 0.30 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 把高無風式 はばれ形 |
| 75 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | サスカイト 石墨 | 2.35 1.45 0.45 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 把高無風式 落灰外枠 |
| 76 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | サスカイト 石墨 | 1.90 1.25 0.25 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 把高無風式 落灰外枠 |
| 77 | A区 2トレーン | 落ち込み | サスカイト 石墨 | 2.20 1.75 0.40 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 把高無風式 はばれ形 |
| 78 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 | サスカイト 石墨 | 2.50 1.80 0.50 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 四品無風式 はばれ形 |
| 79 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | サスカイト 石墨 | 1.90 1.45 0.20 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 四品無風式 はばれ形 |
| 80 | A区 2トレーン | 落ち込み | サスカイト 石墨 | 1.70 1.50 0.25 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 把高無風式 先端火鉢 |
| 81 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | サスカイト 石墨 | 1.80 1.30 0.30 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 把高無風式 先端火鉢 |
| 82 | A区 2トレーン | 落ち込み | サスカイト 石墨 | 1.70 1.25 0.25 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 四品無風式 先端火鉢 |
| 83 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 | サスカイト 石墨 | 1.95 1.60 0.60 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 手握無風式 光形 |
| 84 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色 | サスカイト 石墨 | 1.80 1.60 0.60 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 平握無風式 はばれ形 |
| 85 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色 | サスカイト 石墨 | 2.10 1.85 0.50 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 平握無風式 先端火鉢 |
| 86 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | サスカイト 石墨 | 1.90 1.60 0.40 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 平握無風式 先端火鉢 |
| 87 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色 | サスカイト 石墨 | 2.20 1.50 0.60 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 平握無風式 はばれ形 |
| 88 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | サスカイト 石墨 | 1.70 1.70 0.25 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 手握無風式 先端火鉢 |
| 89 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 | サスカイト 石墨 | 1.70 1.60 0.50 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 手握無風式 先端火鉢 |
| 90 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 | サスカイト 石墨 | 2.20 1.75 0.30 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 手握無風式 先端・落灰外枠 |
| 91 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 | サスカイト 石墨 | 2.85 2.00 0.50 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 平握無風式 朱波点 |
| 92 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | サスカイト スクリューパー 石墨 | 1.75 3.85 1.20 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 手握無風式 先端火鉢 |
| 93 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | サスカイト スクリューパー 石墨 | 7.00 4.00 0.85 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 手握無風式 先端火鉢 |
| 94 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色 | サスカイト スクリューパー 石墨 | 3.05 7.10 0.65 | 残存長 残存幅 残存厚 | | | | 手握無風式 先端火鉢 |
| 02289 95 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | 落灰砂岩 落灰 | 6.00 5.40 5.25 | 落灰上部 沈灰 落灰 | | | | 手握無風式 落灰外枠 |
| 96 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | 落灰砂岩 落灰 | 10.85 9.40 5.20 | 落灰上部 沈灰 落灰 | | | | 手握無風式 落灰外枠 |
| 97 | A区 2トレーン | 落ち込み 落灰土 落灰 | サスカイト 石墨 | 6.20 38.00 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒・落灰含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 落灰口掛 |
| 98 | A区 2トレーン | 落ち込み 落灰土 落灰 | サスカイト 石墨 | 3.90 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 |
| 99 | A区 2トレーン | 落ち込み 落灰土 落灰 | サスカイト 石墨 | 6.80 1.20 | 落灰上部 沈灰 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 |
| 100 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | 落灰土 落灰 | 5.50 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 |
| 101 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | 落灰土 落灰 | 6.50 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 |
| 102 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 落灰 | 落灰土 落灰 | 2.80 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 |
| 103 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色 | 落灰土 落灰 | 3.50 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 |
| 104 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | 落灰土 落灰 | 5.10 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 落灰口掛 |
| 105 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 | 落灰土 落灰 | 4.60 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 |
| 106 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土 | 落灰土 落灰 | 2.80 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 |
| 107 | A区 2トレーン | 落ち込み 落灰土 落灰 | 落灰土 落灰 | 2.20 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒・落灰含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 落灰口掛 |
| 108 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 落灰 | 落灰土 落灰 | 5.70 8.00 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 落灰口掛 |
| 109 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 | 落灰土 落灰 | 5.80 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 落灰の形 |
| 110 | A区 3トレーン | 落ち込み 落灰土色塵混土 落灰 | 落灰土 落灰 | 3.70 1.20 | 落灰上部 沈灰 厚原 落灰口掛 | 落 (砂粒含む) 内 ナフ | 良好 | 外 褐色 内 黑色 | 古文 落灰口掛 |

| 種別等号 | レントン号 | 出土遺点・層位 | 基盤地 | 剖面高 (cm) | 手 鉄 | 釜 土 | 焼成 | 色 調 | 備 考 | |
|-------|-------------|-----------------|-----------------|-------------|-----------|-------------------------------------|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------|
| 第255号 | 111 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 180 — | 外面 沈殿 真文灰 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 112 | A区 2トレント | 高ちるみ | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 250 | 外面 ナデ 沈殿 純青 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青白色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 113 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 230 | 外面 沈殿 剥落 内面 腐食のため測定不明 | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青白色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 114 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 260 | 外面 ナデ 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青白色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 115 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 270 | 外面 腐食のため測定不明 | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青白色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 116 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 230 | 外面 沈殿 内面 卷貝巻抜後ナデ | 中や粗 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 117 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 320 | 外面 ナデ 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 118 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 330 | 外面 沈殿 貝殻留置灰 内面 腐食のため測定不明 | 中や粗 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 119 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 400 | 外面 卷貝巻抜後ナデ 沈殿 純青灰 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 120 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 500 | 外面 上ゴモ 沈殿 沈殿 L刷 内面 ゴモ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 121 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 340 | 外面 沈殿 爪形灰 内面 腐食のため測定不明 | 中や粗 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 122 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 350 | 外面 ナデ 沈殿 猫耳灰 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 123 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 470 | 外面 ナデ 沈殿 R刷 卷貝巻抜後ナデ | 中や粗 内面 卷貝巻抜後ナデ | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 124 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 360 | 外面 ナデ 内面 沈殿 L刷 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 第256号 | 125 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 460 | 外面 ナデ 四輪 L刷 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 |
| 126 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 350 | 外面 ナデ 四輪 L刷 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 127 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 350 | 外面 ナデ 四輪 L刷 内面 ナデ 四輪 R刷 | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 128 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 360 | 外面 ナデ 四輪 内面 ナデ 四輪 | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 129 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 350 | 外面 ナデ 四輪 L刷 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 130 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 370 | 外面 ナデ 沈殿 L刷 内面 ナデ 沈殿 L刷 | 中や粗 (砂粒・岩粉含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 131 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 710 | 外面 卷貝巻抜後ナデ 沈殿 刻夷 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 132 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 530 | 外面 ナデ ナデ 沈殿 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 133 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 450 | 外面 ナデ 四輪 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 134 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 350 | 外面 ナデ 四輪 内面 ナデ | 中や粗 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 135 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 470 | 外面 四輪 内面 腐食のため測定不明 | 中や粗 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 136 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 480 | 外面 四輪 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 137 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 480 | 外面 四輪 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 138 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 420 | 外面 ナデ 四輪 内面 ナデ ゴモ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 139 | A区 2トレント | 高ちるみ | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 450 | 外面 ナデ 四輪 沈殿瓦礫付近剥離 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 140 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 500 | 外面 卷貝巻抜後ナデ 四輪 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 141 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 280 | 外面 ナデ 四輪 粘土泥瓦質瓦片瓦 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 142 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 350 | 外面 卷貝巻抜後ナデ 四輪 瓦片瓦質瓦片瓦 内面 卷貝巻抜後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 143 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 570 | 外面 ナデ 四輪 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 144 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 130 | 外面 ナデ 四輪 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 145 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色櫻皮土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 | 600 | 外面 ナデ 四輪 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 146 | A区 3トレント | 高ちるみ 昭和茶色粘質土 | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 250 | 外面 卷貝巻後ナデ 内面 卷貝巻後ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |
| 147 | A区 2トレント | 高ちるみ | 陶文土器 鉢 | 残存高 口径 | 310 | 外面 卷貝巻後ナデ 四輪 内面 ナデ | 青 (砂粒含む) | 真好 外 内 暗青灰色 暗青灰色 淡青灰色 | 青灰 内面 暗紅口縁 | |

| 樹種等番 数 | トレーン名 | 樹木地點・特徴 | 樹種 別 | 形態 別 | 平均樹 高(m) | 年 令 | 生 長 | 地 土 | 根成 | 色 調 | 管 号 |
|-------------|-------------|----------------|------------|-------------|-------------|----------|------------------------|-----------------|----|-----------------------|-------------|
| 2528 148 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 2.80 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波のため調整不明 | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗黄褐色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 149 | A区 2トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.00 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 高丈 | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗黄褐色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 150 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色粘土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.00 | 外高 内低 | ナデ ナデ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗黄褐色 内 新茶色 | 有文 |
| 151 | A区 3トレーン | 高さ込み 高土土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.00 | 外高 内低 | 津波のため調整不明 | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗黄褐色 内 新茶色 | 有文 |
| 152 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色粘土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.20 | 外高 内低 | ナデ 津波のため調整不明 | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗黄褐色 内 新茶色 | 有文 |
| 153 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色粘土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.70 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 2528 154 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 4.00 | 外高 内低 | 津波のため調整不明 ナデ | 粗 (砂粒・根含む) | 良 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 155 | A区 3トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 1.50 | 外高 内低 | 斜行倒伏 ナデ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 | 有文 |
| 156 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.70 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | 粗 (砂粒・根含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 157 | 2トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 2.80 | 外高 内低 | 口高倒伏 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 158 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 後伐口往 | 4.70 | 外高 内低 | V字割 ナデ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 159 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 6.40 | 外高 内低 | D字割 ナデ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 160 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 5.70 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 161 | A区 3トレーン | 高さ込み 高土土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 2.80 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 162 | 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.50 | 外高 内低 | 津波のため調整不明 津波のため調整不明 | やや粗 (砂粒含む) | 良 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 163 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.80 | 外高 内低 | 委員会直後 半幅竹管倒伏 ナデ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 164 | 3トレーン | 高さ込み 基木風化帶土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 2.30 | 外高 内低 | 委員会直後 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 165 | A区 3トレーン | 高さ込み 基木風化帶土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 4.80 | 外高 内低 | D字割 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 凸脊丈 |
| 166 | 2トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 2.90 | 外高 内低 | D字割 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 凸脊丈 |
| 167 | 3トレーン | 高さ込み 高土土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 後伐口往 | 3.50 | 外高 内低 | D字割 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 凸脊丈 外反口締 |
| 168 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 2.50 | 外高 内低 | 贴合凸崩 D字割 ナデ | 粗 (砂粒多し) | 良好 | 外 白茶色 内 新茶色 | 凸脊丈 内反口締 |
| 2528 169 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 後伐口往 | 4.50 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 170 | A区 3トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.50 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 内反口締 |
| 171 | 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 後伐口往 | 3.70 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | やや粗 (砂粒・根含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 内反口締 |
| 172 | 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.50 | 外高 内低 | ミガキ 委員会直後ナデ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 173 | 2トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.50 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | 粗 (小石・砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 174 | 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 5.00 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 175 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 後伐口往 | 7.00 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 176 | A区 3トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.50 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波のため調整不明 | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 外反口締 |
| 177 | 2トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 後伐口往 | 3.60 | 外高 内低 | 二段倒伏 二段倒伏 | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 178 | 3トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 後伐口往 | 4.80 | 外高 内低 | 委員会直後 委員会直後ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 179 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 7.60 | 外高 内低 | 委員会直後 津波 ナメリ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 180 | A区 3トレーン | 高さ込み 基木風化帶土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 6.60 | 外高 内低 | 委員会直後 津波のため調整不明 | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 181 | 2トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.70 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 182 | A区 3トレーン | 高さ込み 基木風化帶土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 6.10 | 外高 内低 | 委員会直後 ナメリ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 183 | A区 2トレーン | 高さ込み | 高丈土器 倒伏 | 保存高 後伐口往 | 5.60 | 外高 内低 | 委員会直後ナデ 津波 ナデ | 粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |
| 184 | A区 3トレーン | 高さ込み 暗緑系色粘土 | 高丈土器 倒伏 | 保存高 口往 | 3.10 | 外高 内低 | 委員会直後 委員会直後ナデ | やや粗 (砂粒含む) | 良好 | 外 暗茶色 内 新茶色 | 有文 |

| 試験番号 | トレンチ番号 | 地盤土質・特徴 | 標高 m | 計測高 cm | 手 法 | 基 上 | 成成 | 色 調 | 備 考 | |
|--------------|-------------|---------------------------|---|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|----------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------|
| 83288 221 | A区 3トレンチ | 褐色 暗赤色粘土質、 硬塑 | 標高 6.30 表面性状 泥炭質 透水 4.60 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | | |
| 222 | A区 3トレンチ | 褐色 暗赤色粘土質 | 標高 3.00 底土口徑 12.40 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | | |
| 223 | A区 3トレンチ | 褐色 暗赤色粘土質風化土 | 標高 3.30 底土口徑 10.30 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | | |
| 224 | A区 3トレンチ | 褐色 暗赤色粘土質風化土 | 標高 3.20 底土 3.10 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 透水にハナレ移行 | |
| 225 | A区 3トレンチ | 褐色 暗赤色粘土質 | 標高 2.70 底土口徑 12.40 底土透水 良好 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | | |
| 83308 226 | B区 | 黒土層 風化茶色土 | サメカイト 石綿 | 高 1.95 底土 0.40 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 未確認 |
| 227 | B区 | 黒土層 風化茶色土 | 低生土層 小屋 | 高 4.60 底土 7.20 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 手づくね |
| 228 | B区 | 黒土層 風化茶色土 | 低生土層 高木 | 高 7.00 底土口徑 16.00 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 229 | B区 | 黒土層 風化茶色土 | 高 6.30 底土 3.00 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 新規品に黒土円筒充填 脚部内部に絞り底 風化み直 | |
| 230 | B区 | 黒土層 風化茶色土 | 高 5.00 底土口徑 10.00 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | | |
| 231 | B区 | 黒土層 風化茶色土 | 標高 2.00 底土透水 良好 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | | |
| 232 | B区 | 黒土層 風化茶色土上 | 標高 2.50 底土口徑 13.00 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 色柱 | |
| 233 | B区 | 黒土層 風化茶色土 | 標高 5.40 底土透水 良好 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | | |
| 83288 234 | B区 | 土質5 風化茶色土質 (風化茶色土質) | サメカイト 石綿 | 高 2.30 底土 1.50 底土 0.20 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル (砂粒含む) | 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 二段加工崩片 |
| 235 | B区 | 土質5 風化茶色土質 (風化茶色土質) | 高 2.20 底土 0.20 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル (砂粒含む) | 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 高支 底口 | |
| 236 | B区 | 土質5 風化茶色土質 (風化茶色土質) | 低生土層 高木 | 高 3.00 底土 4.20 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 237 | B区 | 土質5 風化茶色土質 (風化茶色土質) | 高 5.20 底土 24.00 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | | |
| 83288 238 | B区 | 自然河川 第1号 | サメカイト 石綿 | 高 2.20 底土 1.75 底土 0.40 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 半連續式 先端欠損 |
| 239 | B区 | 自然河川 第1号 | サメカイト 石綿 | 高 2.35 底土 0.35 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 先端欠損 |
| 240 | B区 | 自然河川 第1号 | サメカイト 石綿 | 高 2.25 底土 0.65 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 241 | B区 | 自然河川 第1号 | 根毛苔 根 | 高 2.10 底土口徑 12.00 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 242 | B区 | 自然河川 第1号 | 根毛苔 根莖 | 高 4.70 底土 12.20 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 外側体部に自然地 |
| 243 | B区 | 自然河川 第1号 | 上部質 小屋 | 高 2.10 底土 8.60 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 83488 244 | B区 | 自然河川 第2号 | サメカイト 石綿 | 高 2.70 底土 0.35 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 平面加工式 往復充てん |
| 245 | B区 | 自然河川 第2号 | サメカイト 石綿 | 高 3.05 底土 2.20 底土 0.35 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 246 | B区 | 自然河川 第2号 | 高丈土層 津株 | 高 4.00 底土 0.20 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 右支 底口 |
| 247 | B区 | 自然河川 第2号 | 高丈土層 津株又は株 | 高 5.80 底土 22.45 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 248 | B区 | 自然河川 第2号 | 高丈土層 津株 | 高 1.50 底土 0.65 | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 良好 良好 | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 右支 底口 |
| 249 | B区 | 自然河川 第2号 | 高丈土層 津株 | 高 3.60 底土 — | 外基上層部 D字溝 内層 ナメル | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 右支 底口 |
| 250 | B区 | 自然河川 第2号 | 高丈土層 津株 | 高 2.50 底土 — | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 251 | B区 | 自然河川 第2号 | 高丈土層 津株 | 高 4.10 底土 — | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | |
| 252 | B区 | 自然河川 第2号 | 高丈土層 津株 | 高 5.50 底土 — | 外基 上層部 泥炭質 透水 底部 風化土 | ナメル ナメル ナメル | 良好 (砂粒含む) | 外 内 外 内 外 内 | 褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 茶褐色 | 右支 底口 |

| 標出年号 | トレンナム | 出水点・位置 | 基準地 | 距離 | 手 法 | 地 土 | 構成 | 色 調 | 備 考 |
|------|-------|-------------|-----------|----------------------|---|-------------|-----|----------------------------|---------|
| 253 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 1.80 | 外側 体部 ケズリ 内側 体部 指サギ | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 基礎系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | 無大 |
| 254 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 4.00 | 外側 体部 ケズリ 内側 体部 指サギ | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 基礎系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | 田山底 |
| 255 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 4.00 | 外側 体部 制限のため調査不明 内側 体部 ナダ | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 基礎系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | 田山底 |
| 256 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 4.50 | 外側 体部 ケズリ 内側 体部 ナダ | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 基礎系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | 田山底 |
| 257 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 4.50 | 外側 つまみ泥 既オサキ 内側 体部 ナダ 既元口往 つまみ泥 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 * | |
| 258 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 4.50 | 外側 つまみ泥 既オサキ 内側 体部 ナダ | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 * | |
| 259 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 4.50 | 外側 つまみ泥 既オサキ 内側 体部 ナダ | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 * | |
| 260 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 4.50 | 外側 ハケ日 既オサキ 内側 ハケ日 既オサキ | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 261 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 4.50 | 外側 つまみ泥 既オサキ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 つまみ泥 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 * | |
| 262 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 5.20 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 5.20 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 263 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 17.00 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 17.00 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 * | |
| 264 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 17.00 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 制限のため調査不明 既元口往 17.00 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 * | |
| 265 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 17.50 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 17.50 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 266 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 17.50 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 17.50 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | 内面相部に黒斑 |
| 267 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 17.50 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 17.50 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 268 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 21.40 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 21.40 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 269 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 16.20 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 16.20 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | 柱行膏水洞隙 |
| 270 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 26.40 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 26.40 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 271 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 16.20 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 制限のため調査不明 既元口往 16.20 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 272 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 14.80 | 外側 制限のため調査不明 内側 制限のため調査不明 既元口往 14.80 | 青 (砂粒含む) | やや軟 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 273 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 15.20 | 外側 体部 指サギ ドリル充 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 15.20 | 青 (砂粒含む) | やや軟 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 274 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 16.00 | 外側 体部 指サギ 行き付行き付 内側 体部 制限のため調査不明 既元口往 16.00 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 275 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 13.60 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 13.60 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 276 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 19.40 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 19.40 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 277 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 14.10 | 外側 体部 指サギ ドリル充 内側 体部 指サギ 緑ナメ 既元口往 14.10 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 278 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 14.60 | 外側 体部 指サギ ハラミガキ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 14.60 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 279 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 15.60 | 外側 体部 指サギ ハラミガキ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 15.60 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 280 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 12.40 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 12.40 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | 乳白種 |
| 281 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 10.00 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 10.00 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |
| 282 | B区 | 自然河川 第2巷 | 既生土砂 堆 | 既存高 既元口往 15.20 | 外側 体部 指サギ 内側 体部 ハラミガキ 既元口往 15.20 | 青 (砂粒含む) | 良好 | 外 黄緑系緑色 内 基礎系緑色 表層緑色 | |

| 種類番号 | トレーシング | 出土場所・埋蔵 | 標高 | 野原側 (cm) | 手 法 | 地 土 | 地成 分 | 色 調 | 国 考 |
|---------------|-------------------|------------|-------------------|-------------------------|----------|---|---------------|-----------------------|--------------|
| 33-056 283 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 6.50 15.20 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 口部 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | やや赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 284 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 13.00 13.20 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 口部 部、削減したため調整不明 | やや赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 285 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 27.20 19.00 13.20 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 口部 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 286 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 7.40 16.00 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 287 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 10.00 11.90 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 外縁赤部、内縁赤部に黒斑 |
| 288 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 | 7.80 11.00 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | やや赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 289 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 14.90 6.50 3.70 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | ほぼ完形 |
| 290 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 10.50 10.00 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | やや赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 291 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底径 | 海抜高 復元口径 | 14.20 | 外縁 内縁 | 体部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 断面赤部に黒斑 |
| 292 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 体部 | 海抜高 復元口径 | 13.30 14.20 | 外縁 内縁 | 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 外縁赤部に黒斑 |
| 293 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 4.90 13.40 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 294 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 | 5.50 23.40 | 外縁 内縁 | 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 33-057 295 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 10.00 8.50 3.00 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | ほぼ完形 |
| 296 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 8.10 5.50 | 外縁 内縁 | 体部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 外縁赤部に黒斑 |
| 297 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 13.80 8.50 4.00 | 外縁 内縁 | 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 298 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 33.30 13.80 4.40 | 外縁 内縁 | 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 299 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 5.60 5.30 | 外縁 内縁 | 体部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 外縁赤部に黒斑 |
| 300 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 6.50 5.80 | 外縁 内縁 | 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 外縁赤部に本赤部 |
| 301 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 3.40 2.40 | 外縁 内縁 | 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 302 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 3.00 4.60 | 外縁 内縁 | 体部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 303 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 底 | 海抜高 復元口径 底径 | 7.00 6.50 | 外縁 内縁 | 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | やや赤 (赤粒含む) | やや赤 外 内 暗赤褐色 | 外縁赤部に黒斑 |
| 304 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 体部 | 海抜高 復元口径 底径 | 7.20 14.30 | 外縁 内縁 | 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 断面赤部 |
| 305 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 体 | 海抜高 復元口径 底径 | 12.00 30.20 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 306 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 体 | 海抜高 復元口径 底径 | 17.10 24.20 5.20 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 外縁赤部に黒斑 |
| 307 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 体 | 海抜高 復元口径 底径 | 7.50 14.80 4.20 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 外縁赤部に黒斑 |
| 308 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 体 | 海抜高 復元口径 底径 | 9.50 16.40 3.60 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | やや赤 (赤粒含む) | やや赤 外 内 暗赤褐色 | 外口部部に朱仕合 |
| 309 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 体 | 海抜高 復元口径 底径 | 10.60 11.80 3.60 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | |
| 310 | B区 自然河川 第2号 | 赤土土器 体 | 海抜高 復元口径 底径 | 11.80 3.60 | 外縁 内縁 | 口縁部 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 部、削減したため調整不明 | 赤 (赤粒含む) | 赤 外 内 暗赤褐色 | 内面赤部に黒斑 |

| 測量番号 監査番号 | トレイン番号 | 出土地点・標位 | 地質 岩相 | 測量 距離 (cm) | 手 法 | 基 土 | 地成 分 | 色 調 | 備 考 |
|--------------|-------------------|------------|-------------|-------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------|-----------------------|----------------------|
| 55403 341 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 山田 | 21.50 26.50 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | やや粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 342 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 21.30 17.20 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 中や粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 343 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 22.80 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (小石・砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 344 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 10.50 21.40 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 55413 345 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 10.40 20.60 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 346 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 山田 | 9.50 15.50 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 347 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 10.70 16.60 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 中や粗 (小石・砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 348 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 6.30 20.00 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 349 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 5.10 25.00 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 中や粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 350 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 8.50 28.60 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 中や粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 351 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 16.60 4.20 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 352 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 16.10 5.00 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 353 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 12.70 5.00 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 354 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 14.20 4.00 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 ナダ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 55423 355 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 20.30 25.20 14.80 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 356 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 15.20 24.40 13.50 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 357 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 15.20 18.80 14.00 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 中や粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 358 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 15.20 18.80 13.00 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 ナダ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 359 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 12.40 14.60 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 タキ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 360 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 11.00 15.80 11.20 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 ナダ タキ タキ タキ タキ | 粗 (小石含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 361 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 14.25 20.20 10.80 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 ナダ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 362 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 14.50 14.00 11.20 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 ナダ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 363 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 12.55 14.20 10.20 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 ナダ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 364 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 22.70 15.00 5.00 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 ナダ タキ タキ タキ タキ | 粗 (砂粒含む) | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |
| 365 | B区 自然河川 第2号 | 既生土層 高杯 | 飛来石 後元口径 | 24.00 12.00 4.60 | 外層 口部 内面 体部 底部 全体 | 褐色 ナダ タキ タキ タキ タキ | 中や粗 直 | 外 内 粗 + 細 | 淡褐色 内 部 淡褐色 |

| 調査番号 | トレンチ名 | 出土地点・層位 | 断面図 | 計測値 | 方 法 | 基 土 | 成 程 | 色 調 | 備 考 |
|------|-------------------|--------------|-------------|-------------------------|---|----------------|-----|-------------|----------|
| 297 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 4.30 12.00 | 口縁部 植生テ 底部 ハラミキ 内面 D級部 ハミミガキ 底部 ナダ | 重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 内面口縁部に風化 |
| 298 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 4.30 12.00 | 壁面のため調査不明 現存高 復元口径 | 重 (砂粒含む) | 良 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 299 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 5.00 15.00 | 口縁部 植生テ 底部 ハラミキ 内面 D級部 ハミミガキ 底部 ナダ | 重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 400 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 7.00 13.10 | 口縁部 植生テ 底部 ハラミキ 内面 D級部 ナダ | 重 (砂粒含む) | やや軟 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 401 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 4.30 12.00 | 壁面のため調査不明 竹材付内側面文 現存高 復元口径 | 重 (砂粒含む) | やや軟 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 402 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 5.70 4.60 | 口縁部 植生テ 底部 ナダ 内面 D級部 ナダ及びハラケズリ | 重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 403 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 5.60 3.20 | 口縁部 ナダ 内面 ハナ日 | 重 | 良好 | 外 内 新 | 内面に風化 |
| 404 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 8.00 21.00 | 口縁部 植生テ 底部 タキ 内面 D級部 ナダ | やや重 (砂粒含む) | やや重 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 405 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 6.00 17.40 | 口縁部 植生テ 底部 タキ 内面 D級部 ナダ | 重 (小石・砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 406 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 3.10 16.80 | 口縁部 植生テ 底部 タキ 内面 ハナ日 | やや重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 407 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 6.50 17.20 | 口縁部 植生テ 底部 タキ後一節へハラケズリ 内面 D級部 ナダ | 重 (砂粒含む) | やや重 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 408 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 5.60 16.80 | 口縁部 植生テ 底部 タキ 内面 D級部 ナダ | 重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 409 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 6.60 16.00 | 口縁部 植生テ 底部 タキ 内面 D級部 ナダ | やや重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 410 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 5.10 11.00 | 口縁部 植生テ 底部 タキ後一節ナダ 内面 D級部 ナダ | 重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 411 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 5.60 20.80 | 口縁部 植生テ 底部 タキ後一節ナダ 内面 D級部 ナダ | 重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 412 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 4.60 13.00 | 口縁部 植生テ 底部 タキ後一節ナダ 内面 D級部 ナダ | やや重 (砂粒含む) | やや重 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 413 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 4.00 18.20 | 口縁部 植生テ 底部 オオエ 体部 タキ 内面 D級部 ナダ | やや重 (砂粒含む) | やや重 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 414 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 3.10 16.80 | 口縁部 植生テ 底部 ハナ日 内面 D級部 ナダ | やや重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 415 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 3.20 23.00 | 口縁部 植生テ 底部 ハナ日 内面 D級部 ナダ | やや重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 416 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 3.90 22.40 | 壁面のため調査不明 底面のため調査不明 | やや重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 417 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 3.80 20.80 | 植生テ 内面 ハナ日 | 重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 418 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 3.00 17.00 | 口縁部 植生テ 底部 脱離のため調査不可 内面 ハラミキ | 重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 419 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 11.00 16.00 11.40 | 植生テ 内面 ハラミキ 底部 ハラミキ 内面 ハラミキ | 重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 420 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 5.00 7.60 | 口縁部 植生テ 底部 ハラミキ 内面 ハラミキ | 重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 421 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 7.00 8.00 | 植生テ 内面 壁面のため調査不明 | やや重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 422 | B区 自然河川 第3号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 8.70 3.00 0.65 | 口縁部 植生テ 底部 タキ後一節ナダ 内面 ハラミキ 底部 ハナ日 | やや重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 423 | B区 自然河川 第3号 | 土斯留原 有土跡 | 現存高 復元口径 | 7.35 300 0.65 | 手づくね | 重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 424 | B区 自然河川 第3号 | 土斯留原 有土跡 | 現存高 復元口径 | 2.80 14.30 | 口縁部 植生テ 底部 ハナ日 内面 ハナ日 | 重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 425 | B区 自然河川 第4号 | サニカモ 倒伏右隣 | 現存高 復元口径 | 1.50 3.00 0.30 | ナダ | 重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 426 | B区 自然河川 第4号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 4.30 12.00 | ナダ | 重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 427 | B区 自然河川 第4号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 2.80 11.40 | 植生テ 内面 ハラミキ 底部 ナダ | やや重 (砂粒含む) | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 428 | B区 自然河川 第4号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 7.00 11.40 | 口縁部 植生テ 底部 ハラミキ 内面 ナダ | 重 | 良好 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |
| 429 | B区 自然河川 第4号 | 佐土原 高井 | 現存高 復元口径 | 6.10 3.00 | 壁面のため調査不明 植生テ 壁面のため調査不明 内面 ハナ日 | 重 (砂粒含む) | やや重 | 外 内 新 | 外壁部に風化 |



上空から見た向出遺跡（北より）



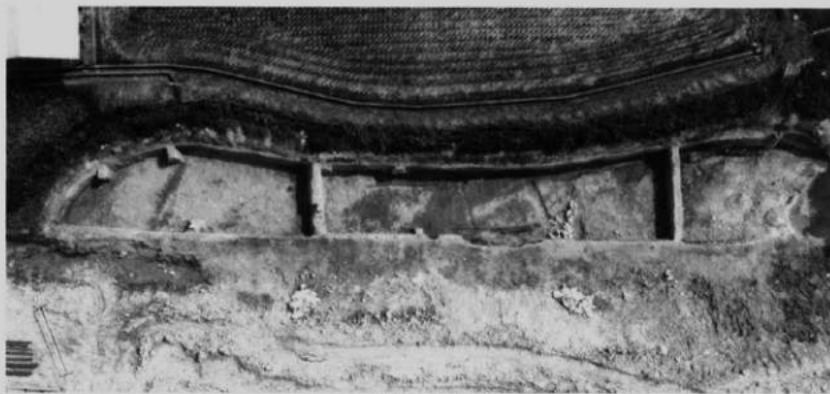
調査区遠景（南より）



A区1・2トレンチ 全景



A区3トレンチ 全景



B区 全景



A区1トレント 東側断面



A区2トレント 東側断面



A区3トレント 東側断面



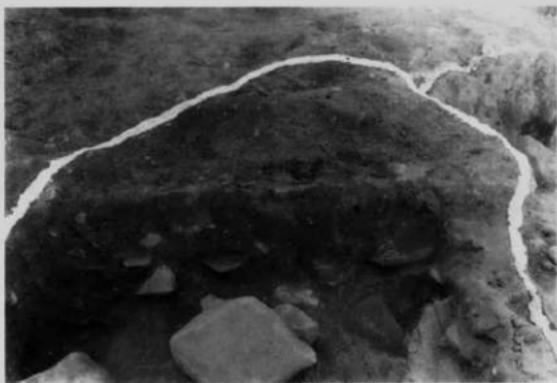
A区1トレンチ 土坑1 東側断面



A区1トレンチ 土坑1 (北より)



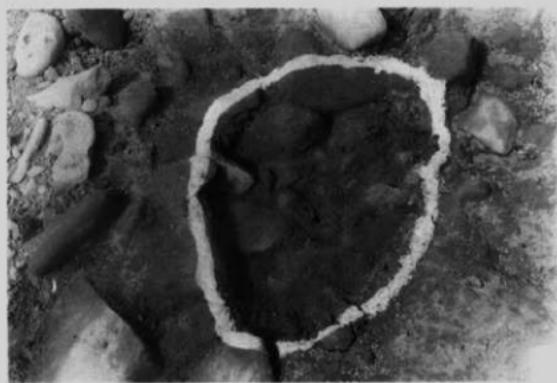
A区2トレンチ 土坑2 南側断面



A区2トレンチ 土坑3 西側断面



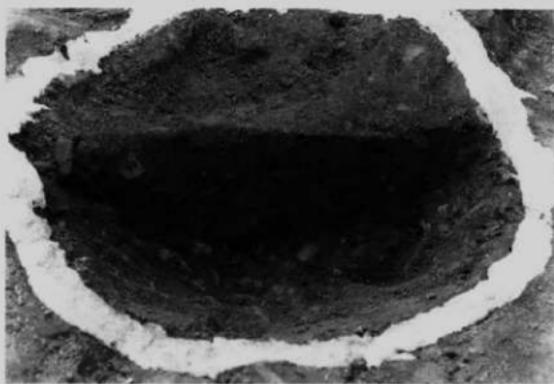
A区2トレンチ 土坑3(南より)



A区1トレンチ ピット1(東より)



A区1トレンチ ピット2 西側断面



A区1トレンチ ピット3 西側断面



A区3トレンチ ピット5(北より)



B区 東側断面



B区 西側断面



B区 土坑5 南側断面



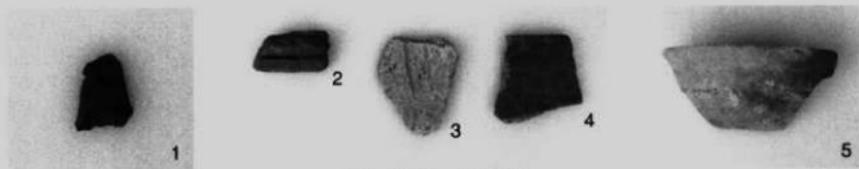
B区 土坑5(北より)



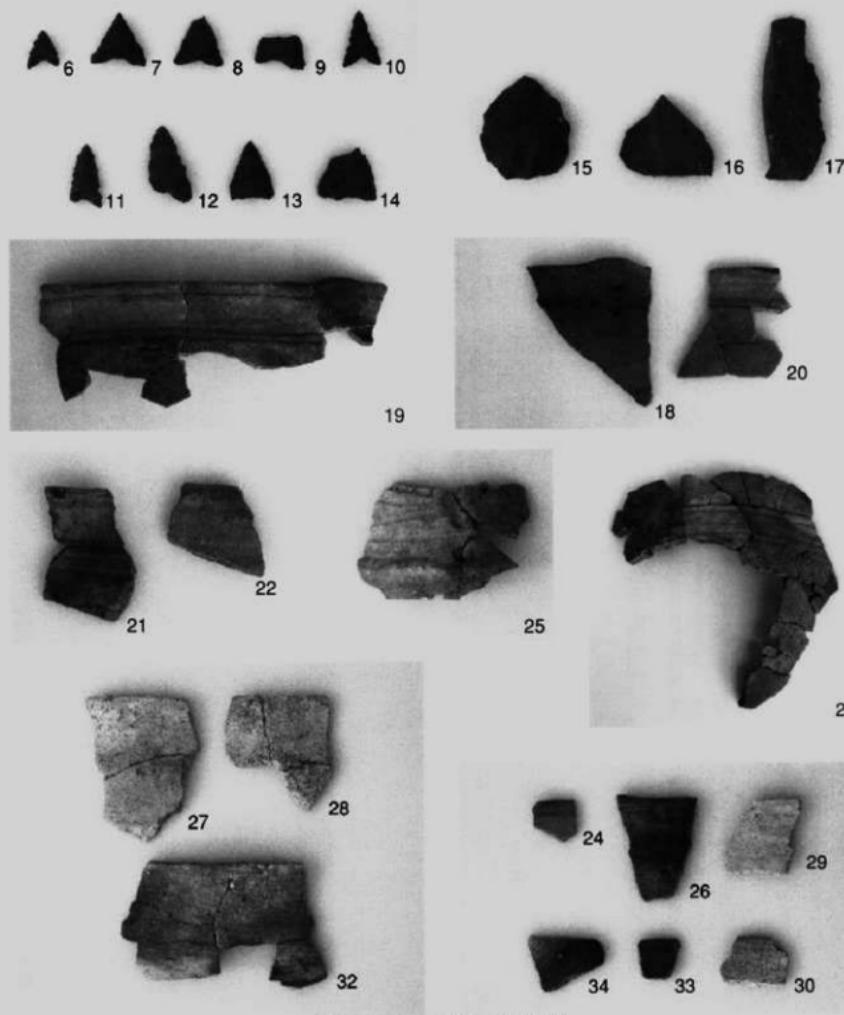
B区 溝1(西より)



B区 自然河川 列石(南より)



A区 第3層 出土遺物



A区1トレンチ 土坑1 出土遺物



31

A区1トレンチ 土坑1 出土遺物



35

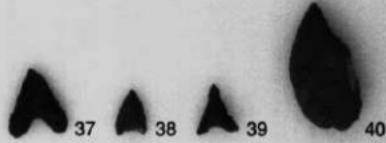


36

A区2トレンチ 土坑2 出土遺物



41

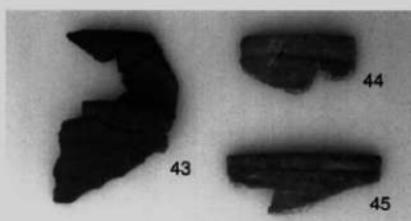


37

38

39

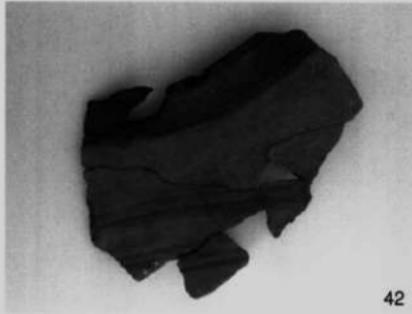
40



43

44

45



42



46

A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



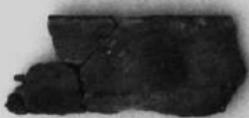
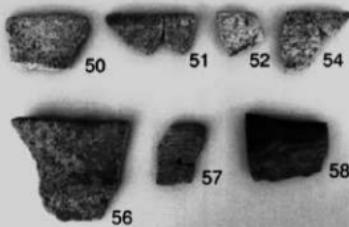
47

48



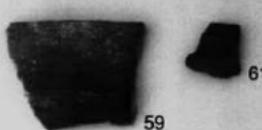
49

A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



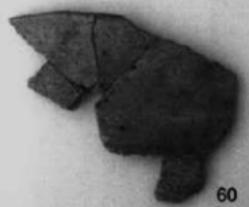
53

A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



59

61



60

A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



55

A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



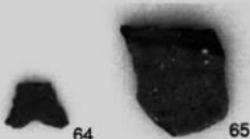
62

A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



63

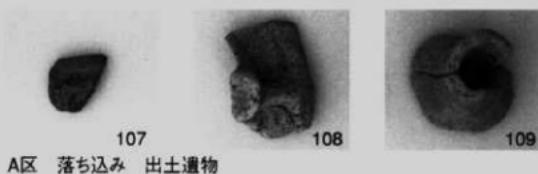
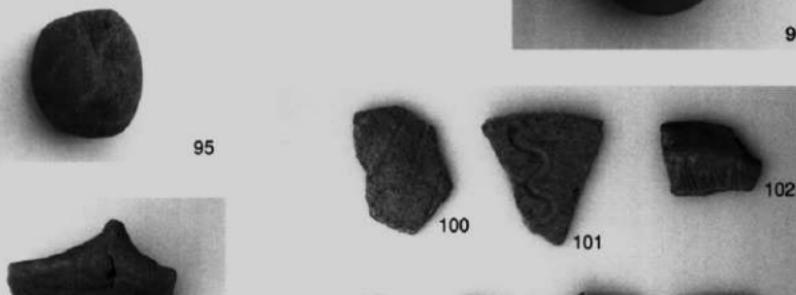
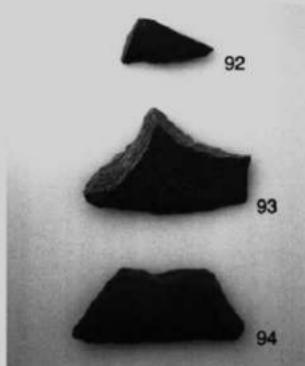
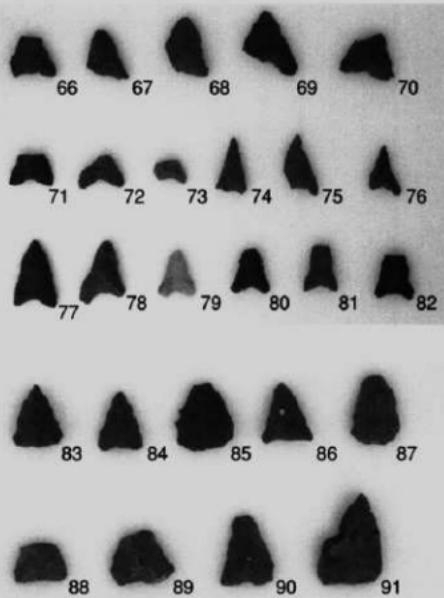
A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



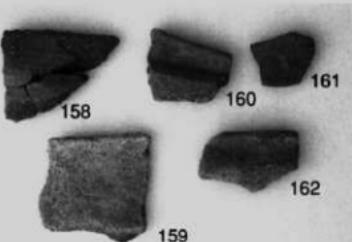
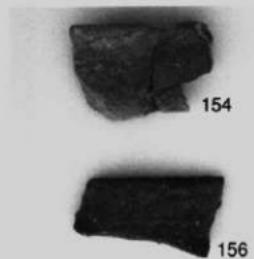
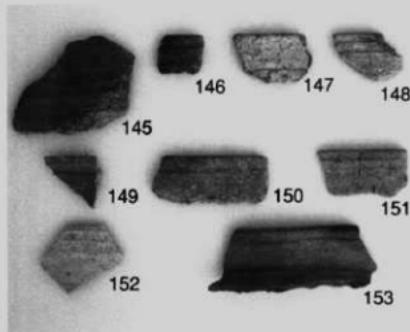
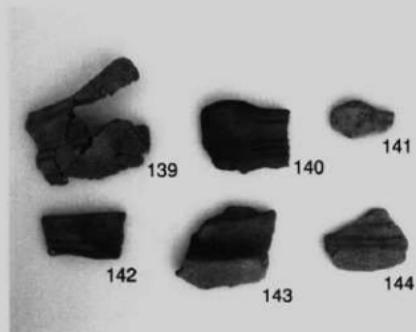
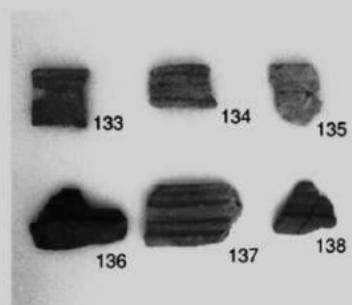
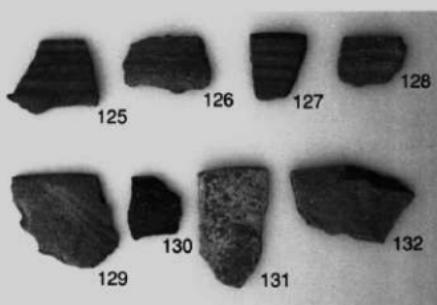
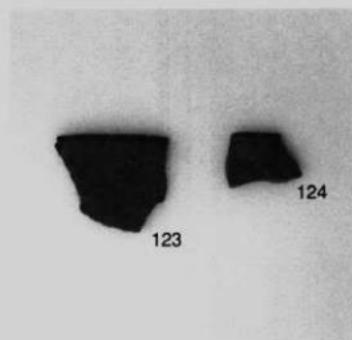
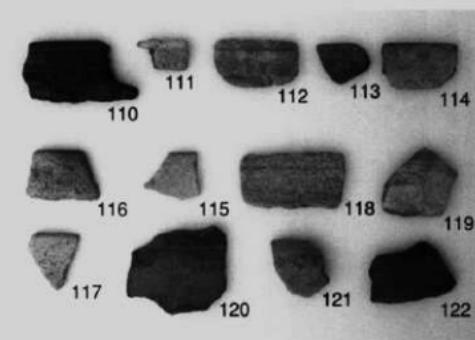
64

65

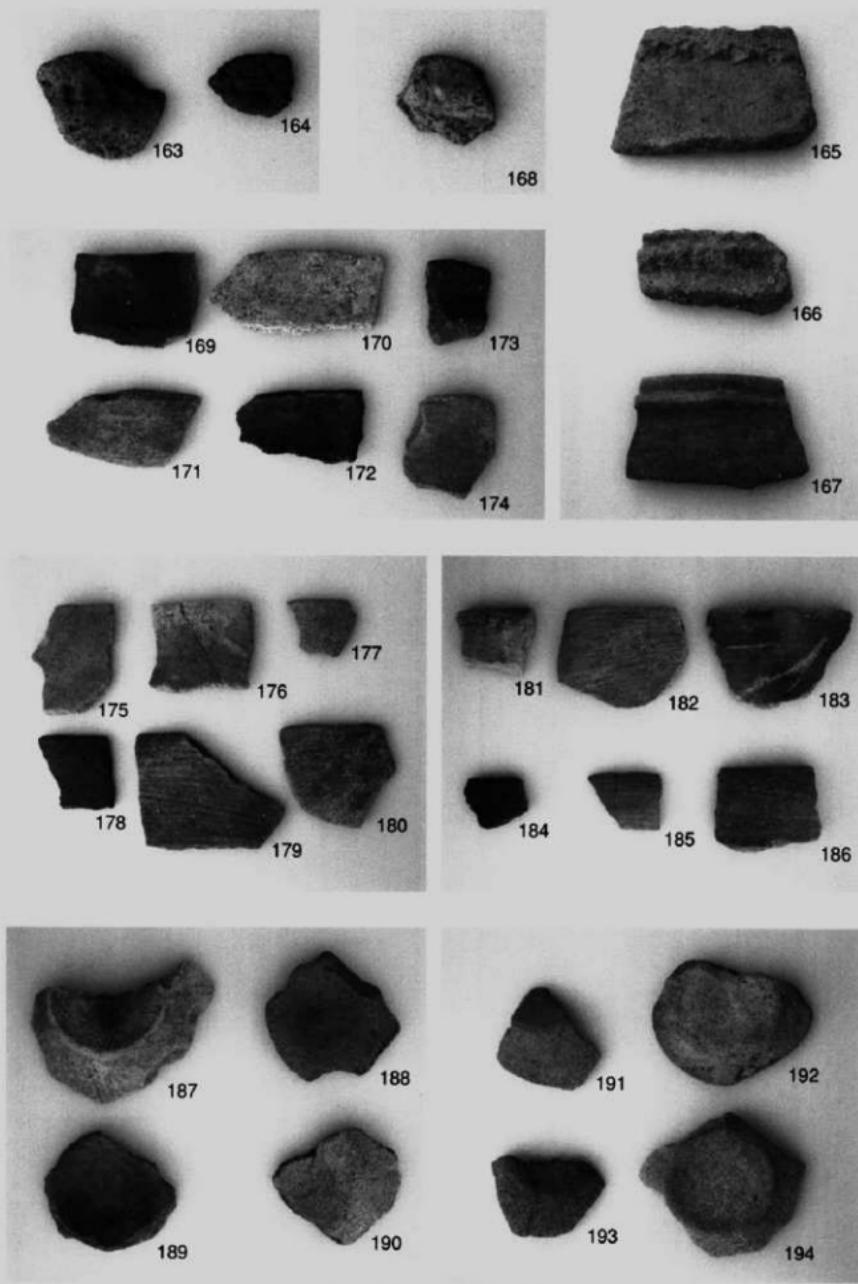
A区3トレンチ ピット5 出土遺物



A区 落ち込み 出土遺物



A区 落ち込み 出土遺物



A区 落ち込み 出土遺物



195



196



197



206



207



208



216



218



209



210



217



219



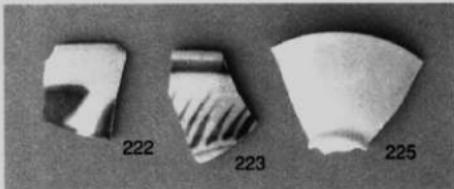
220



221



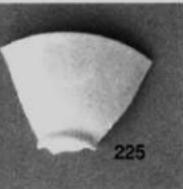
224



222



223



225

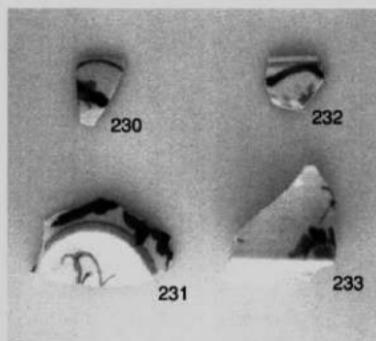
A区 落ち込み 出土遺物



226



227



230

232

231

233

B区 第2層 出土遺物



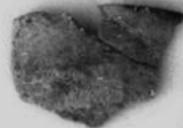
234



235



236



237

B区 土坑5 出土遺物



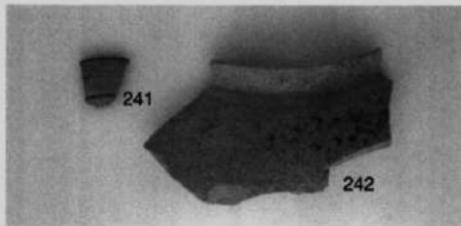
238



239



240



241

242

B区 自然河川第1層 出土遺物



244



245



246



247

248



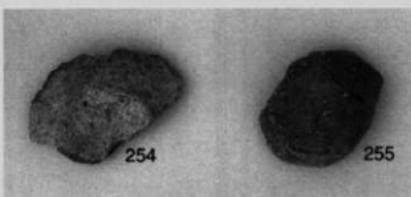
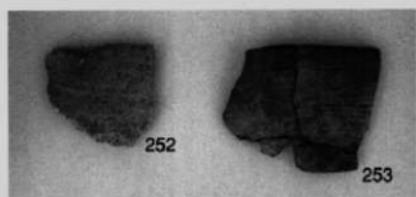
249



250

251

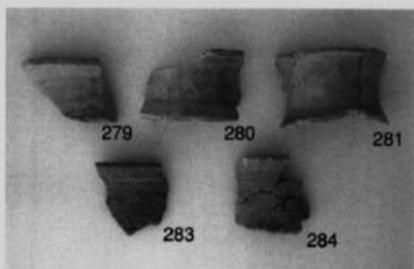
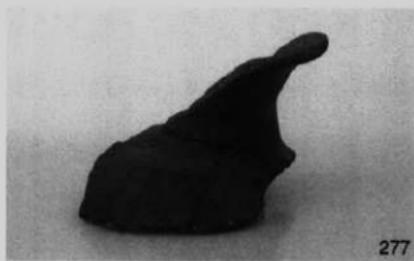
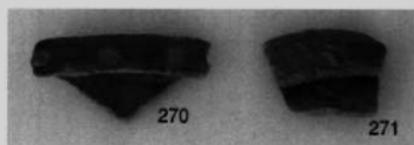
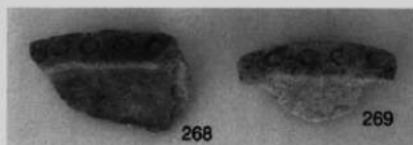
B区 自然河川第2層 出土遺物



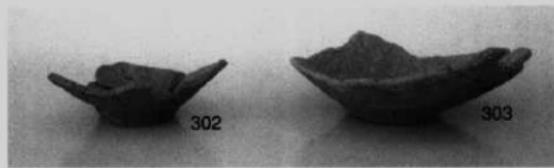
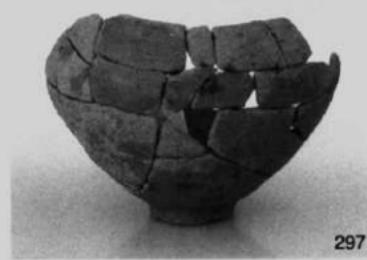
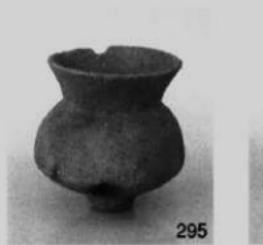
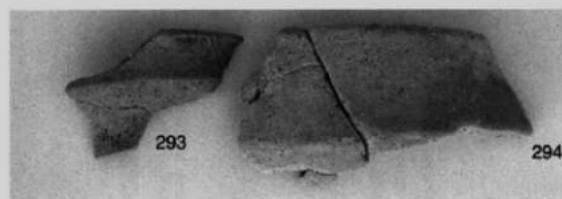
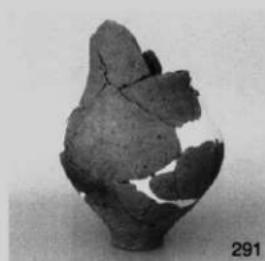
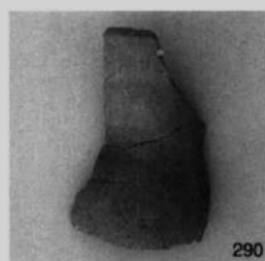
267

B区 自然河川第2層 出土遺物

265



B区 自然河川第2層 出土遺物



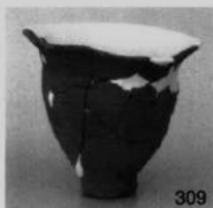
B区 自然河川第2層 出土遺物



306



307



309



310



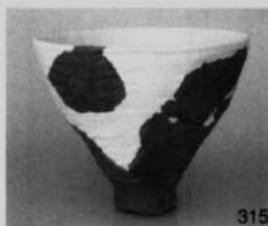
311



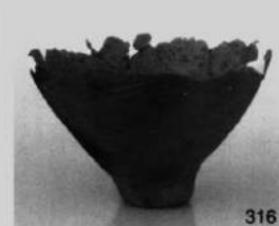
312



313



315



316



314



317



318



319

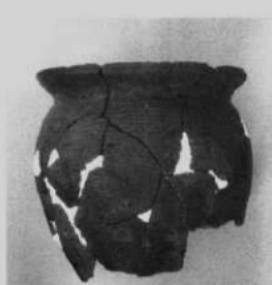
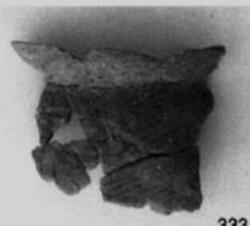
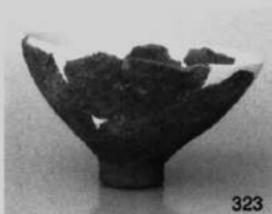
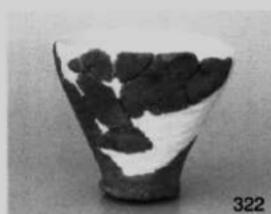


320



321

B区 自然河川第2層 出土遺物



B区 自然河川第2層 出土遺物



350



351



352



354



355



356

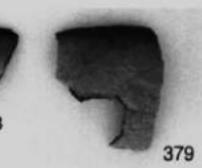
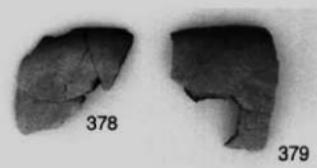
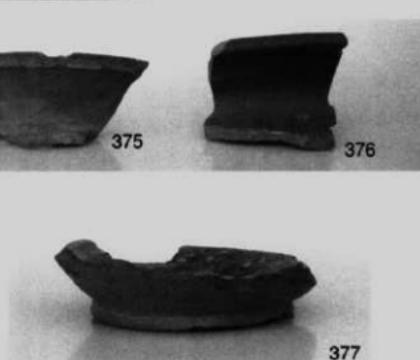
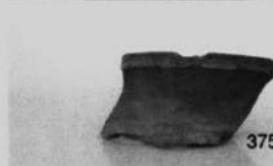
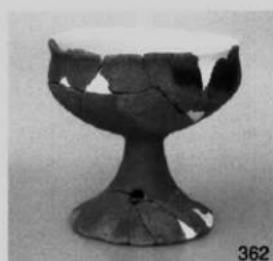


358

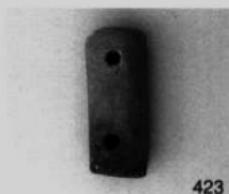
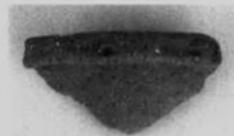
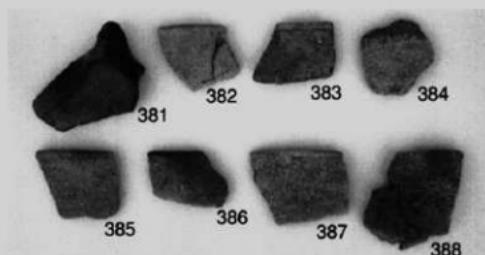


360

B区 自然河川第2層 出土遺物



B区 自然河川第2層 出土遺物



B区 自然河川第3層 出土遺物



B区 自然河川第4層 出土遺物

報告書抄録

| | | | | | | | |
|-----------------|--|--------------|-------------|-------------|-----------|------------------------|-----------|
| ふりがな | むかいでいせきはつくつちょうさほうこくしょ | | | | | | |
| 書名 | 向出遺跡発掘調査報告書 | | | | | | |
| 副書名 | 00-1区 | | | | | | |
| 卷次 | | | | | | | |
| シリーズ名 | 阪南市埋蔵文化財報告 | | | | | | |
| シリーズ番号 | 43 | | | | | | |
| 編著者名 | 三好義三・田中早苗・上野仁・横澤慈・横田明日香 | | | | | | |
| 編集機関 | 阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 | | | | | | |
| 所在地 | 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5678 | | | | | | |
| 発行年月日 | 2009年3月31日 | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード 市町村番号 | 北緯 。 。 " | 東経 。 。 " | 調査期間 | 調査面積 m ² | 調査原因 |
| ひかいでいせき 向出遺跡 | 自然田 | 27232 | 43 | 34 34 50 | 135 25 50 | 20000619-20001012 | 490 農地切下げ |

| 遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|------|-----|----------|-----------------------|---|---------------------------|
| 向出遺跡 | 散布地 | 縄文時代～近世期 | 土坑、溝、 ピット、 落ち込み | 縄文土器・弥生土器・土師器・ 須恵器・黒色土器・瓦器・陶器・ 磁器など | 土坑1および 土坑3から焼 骨が出土。 |

阪南市埋蔵文化財報告 43

向出遺跡発掘調査報告書

— 00 - 1 区 —

2009年3月

発行：阪南市教育委員会
生涯学習部生涯学習推進課
大阪府阪南市尾崎町35の1

印刷所：株式会社 帯谷印刷所
大阪府貝塚市北町19番14号